

# ESMPRO®/AC Lite Ver5.5 セットアップカード

Express5800 シリーズ

## UL1046-609

- 1. 製品内容
- 2. セットアップの準備
- 3. セットアップの方法
- 4. スケジュール運転の設定
- 5. ジョブの登録方法
- 6. ユーティリティ
- 7. 注意事項
- 障害発生時には
- 9. 各種資料

第9版 2024年12月

 $\ensuremath{\textcircled{}^{\circ}}$  NEC Corporation 2024

このたびは ESMPRO/AC Lite Ver5.5 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成 されています。 ESMPRO/AC Lite Ver5.5 をお使いになる前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

CLUSTERPRO、ESMPROは、日本電気株式会社の登録商標です。

Smart-UPS、PowerChute、APC は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社 の登録商標または商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

### 更新履歴

版数	更新日付	更新内容
第1版	2022/04/25	新規作成
第2版	2022/10/31	「3.1 ESMPRO/AC Lite のインストール」の記載変更
		「3.1.1 新規インストールの場合」「3.1.2 上書きインストールの場 合」「3.1.3 バージョンアップインストールの場合」の項目追加
		「3.2.2.2 Web による設定(A)」「3.2.2.3 Web による設定 (B)」「3.2.2.4 Web による設定(C)」の記載変更
		Internet Explorer の記載箇所を Microsoft Edge に変更
第3版	2023/02/09	対象機種を更新
		切断時に実施するジョブの説明を更新
		「5.1.3.1 切断時に登録ジョブを起動するジョブの登録方法」
第4版	2023/02/13	「2.1 ESMPRO/AC Lite のセットアップ環境」「2.2.1 ハードウェア」に 「動作環境一覧」情報を追加
第5版	2023/03/31	保守バンドル製品の型番を削除
第6版	2023/07/31	「■手動によるログ採取方法」の取得パスの記載を修正
第7版	2024/06/28	「8.5 Collectlog および IPMI ログ」に装置 静殿攻集ユーティリティの 静設を追記
第8版	2024/07/31	SNMPカードの注意事項自加
第9版	2024/12/27	UPSの名称の8文字制限の対象になるSNMPカードを追記

# 目次

目次			
第1章	章  製品内容		6
第2章	章 セットアップの準	備	7
2.1	ESMPRO/AC Liteのセット	トアップ環境	7
2.1	.1 ハードウェア		7
2.1	.2 ソフトウェア		7
2.2	ESMPRO/AC Lite の構成例	列	9
第3章	章 セットアップの方	法	
3.1	ESMPRO/AC Liteのインス	ストール	
3.1	.1 新規インストールの	)場合	11
3.1	.2 上書きインストール	の場合	
3.1	.3 バージョンアップイ	インストールの場合	
3.2	SNMP カードの設定		
ა. Z ვე	SIMP カートの不ツ Web による設定	トリーク設定	31
<b>७.</b> ८ २२	Z Web による設た AMC 機能		
3.4	ESMPRO/AC Liteのアンイ	インストール	
第4重	き スケジュール運転	の設定	
4 1	判御想士のフなジュー		77
4.1	前御端木のヘクシュー	-ル設た	
т. I			
第5章	章 ジョブの登録方法		83
5.1	制御端末のジョブの設	と定	
5.1	.1 ジョブ登録画面の起	₫動方法	
5.1	.2   電源投入時のジョフ	「登録方法	
5.1	.3   電源切断時のジョフ	7登録万法	
5.I	.4 ショノ登録の保仔		
₩0 ¶	ネー・イリノイ		
第7章	章 注意事項		100
7.1	セットアップ関連		
7.2	運用関連		
7.3	スケシュール関連		
75	地信小一下番万渕理 サ右フォルダ間浦		104
7.5	AC-LINK 関連		104
1.◎	音 暗害発生時にけ		105
8 1	FSMPRO/AutomaticRuppir	ngController ログ	105
8.2	イベントログ	190010101101 – X	
8.3	バージョン情報		
8.4	SNMP カードからの情報技	采取	
8.4	.1 SNMP カードの情報	(A)	
8.4	.2 SNMP カードの情報	(B)	

8.4.3	SNMP カードの情報 (C)	
8.5 Col	llect ログの採取	
第9章	各種資料	133

# 第1章 製品内容

ESMPRO/AC Lite Ver5.5 のパッケージの内容は、製品に同梱されている「構成品表」に記載されています。添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

### 第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Lite をご利用になるためには、コンピュータの環境を準備していただく必要があ ります。本章の要件を満たした後に ESMPRO/AC Lite のセットアップを実行してください。セッ トアップの方法は、「第3章 セットアップの方法」で詳しく説明しています。

### 2.1 ESMPRO/AC Lite のセットアップ環境

ESMPRO/AC Lite をセットアップするためには、次の環境が必要です。

2.1.1 ハードウェア

くサーバ>

対象機種

: Express5800/100 シリーズ、iStorage NS シリーズ、 Express5800/R320g-E4、Express5800/R320g-M4 DELL PowerEdge R750/R750xs/R650/R650xs/R550/R450

最新の対応 H/W 状況は、以下をご参照ください。 <u>https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/</u> → 動作環境

→ 動作環境一覧

 メモリ
 : 37.0MB以上

 固定ディスクの空き容量:83.2MB以上

<クライアント>

対象機種 : PC-98NX シリーズ、Express5800 シリーズ
 メモリ :33.0MB以上
 固定ディスクの空き容量:100.0MB以上

2.1.2 ソフトウェア

ΟS

Windows Server 2022 Essentials/Standard/Datacenter Windows Server 2019 Essentials/Standard/Datacenter Windows Server 2016 EssentialsStandard/Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter Windows Server 2012 Standard/Datacenter

最新の対応 OS 状況は、以下をご参照ください。 <u>https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/</u> → 動作環境

→ 対応 OS 一覧

- \* ESMPRO/AC Liteをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサポートされている 必要があります。
- \* AMC(AC Management Console)機能に関して Smart-UPS 相当無停電電源装置に SNMP カードを使用して、AMC(AC Management Console)機能によるサーバ構成を構築する場合、ネットワークプロトコルに SNMP が インストールされている必要があります。

\* Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup Edition、 Windows Storage Server 2016/2012 R2 は、iStorage NS シリーズのみに 対応しています。 https://jpn.nec.com/istorage/product/nas/ns/lineup.html?

ESMPRO/AutomaticRunningControllerおよび各オプションパッケージ製品の アップデートを下記サイトに公開しています。未適用のアップデートがござい ましたら、ダウンロードし適用してください。

https://www.support.nec.co.jp/PSHome.aspx

- → 修正物件ダウンロード
- → 製品名・カテゴリから探す
- → ESMPRO/AutomaticRunningController

ESMPRO/AC にて仮想マシンの順序シャットダウン/順序起動を行う場合は、下記資料を ご参照ください。

https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/

- → ダウンロード
- → 各種資料
- → 仮想マシン順序設定マニュアル

### 2.2 ESMPRO/AC Lite の構成例

ESMPRO/AC Lite は1台構成のサーバのみをサポートしております。

Smart-UPS(SNMP)構成(UPS LAN接続)



### ※注意

以下のようなシステム構成は、ESMPRO/AC Lite ではサポートしておりません。

- ・ 複数台のサーバ、UPS にて構成される、マルチサーバ構成のシステム
- ・ 周辺装置(iStorage 装置など)用の別 UPS を備えたシステム
- サーバの冗長電源を備え、複数台の UPS それぞれにサーバの冗長電源のケーブルを接続したシ ステム

## 第3章 セットアップの方法

### 3.1 ESMPRO/AC Lite のインストール

AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに 『ESMPRO/AC Lite Ver5.5』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

『ESMPRO/AC Lite Ver5.5』と記載されているCD-ROMはアンインストール時にも必要になりますので、大切に保管願います。

<u>注意</u>

- ・セットアップの実行中に「終了」および「キャンセル」ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで「終了」ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。
- ESMPRO/AutomaticRunningControllerのHPより最新のパッチ/修正モジュールを確認し、最新の アップデートを適用願います。
   <a href="https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/update.html">https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/update.html</a>?
- ・CD-ROM ドライブをご利用できない場合は、『ESMPRO/AC Lite Ver5.5』と記載されている CD-ROM から iso イメージファイルを作成しマウントしてインストールを行ってください。

### 3.1.1 新規インストールの場合

(1) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

🍻 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セ	ットアップ	×		
<ul> <li>動作を選択</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	C 7.2	インストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。				
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済				
△…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
9 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 天表 m   製品名	バージョン	インストール済		
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.5	×		
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	X		
ESMPRO/AC MSCS7+32=22	5.5 5.5	×		
I ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブショ	ン 5.5	x		
□ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5	×		
実行		終了		

図 3.1-1

- (2) 「ESMPRO/AC Lite」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があり ます。
  - ◆ ESMPRO/AC Liteのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択します。サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AutomaticRunningControllerのチェックを有効にし、その後にESMPRO/AC Enterpriseチェックも有効にしてください。

赦 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セットアップ				
動作を選択 ・ インストール	0 PV	インストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異ならバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記)				
サーバ系製品群クライアント系製品	バージョン	インストール済		
✓ ESMPRO/AutomaticRunningController 5.5   ✓ ESMPRO/AC Enterprise 5.5   ▲ ESMPRO/AC Advance 5.5   ▲ ESMPRO/AC MSCSオプション 5.5   ▲ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 5.5   ▲ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 5.5				
実行		終了		

図 3.1-2

◆ ESMPRO/AC Liteのクライアント系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオ ボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterpriseを選択し、チェックを有効にします。

🍻 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セットアップ				
-動作を選択 ● インストール	0 7243	レストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
サーバ系製品群 クライアント系製品 製品名	バージョン	インストール済		
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	×		
実行		\$7		

図 3.1-3

- (3) 「実行」ボタンを選択します。
- (4) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.1-4

(5) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスシートの ライセンスキー①を入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ ×			
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。			
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.5			
OK キャンセル			

図 3.1-5

(6)入力したライセンスキーが認証されると、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップが開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	Х
<b>ESMPRO/AutomaticRunningController の InstallShield</b> Wizard へようこそ InstallShield Wizard は、ESMPRO/AutomaticRunningController をコンピューターにインストールします。統行するには、D次へ] を切りのしてくだ さい。	
< 戻る(B) (N) キャンセル キャンセル	

図 3.1-6

(7) 続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。 インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	×
<b>インストール先の選択</b> ファイルをインストールするフォルダーを選択します。	Z
セットアッフでは、)次のフォルダー(こ ESMPRO/AutomaticRunningController をインストールします。	
このフォルダーへのインストールは、D欠へJホウンをクリックします。	
別のフォルダーヘインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダーを選択してください。	
インストール先のフォルダー	
C:¥Program Files (x86)¥AUTORC	参照( <u>R</u> )
InstallShield	
< 戻る(B) 次へ(N)>	キャンセル

図 3.1-7

- (8) ファイルの転送が開始されます。
- (9) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



(10) 引き続き、ESMPRO/AC Enterpriseのライセンスキーの入力画面が表示されますので、ライセンスシートのライセンスキー②を入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	×	
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。 ESMPRO/AC Enterprise Ver5.5		
ОК ++>>セル		

図 3.1-9

- (11) ファイルの転送が開始されます。
- (12) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC Enterprise セットアップ	
	InstallShield Wizard の完了
	セットアッフパは、コンビュータへのESMPRO/AC Enterpriseのインストールを完了しました。フログラムを使用する前に、コンピュータを再起動してください。
	< 戻る( <u>B</u> ) <b>完了</b> キャンセル

図 3.1-10

 (13) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterpriseのイン ストール済欄に「〇」およびバージョンが表示されていることを確認します。
 <サーバ系製品インストール後の画面>

<i>‰</i> ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	品セットアップ	×			
<ul> <li>動作を選択</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	0 724	シストール			
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール					
9 / (元表1000年 1) / クライアンド米設1001 製品名	バージョン	インストール済			
■ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブ: ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプシ	5.5 5.5 5.5 ション 5.5 ョン 5.5	○(5.5) ○(5.5) × × × ×			
実行		終了			

図 3.1-11

### <クライアント系製品インストール後の画面> 🍿 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セットアップ × ・動作を選択 -・ インストール ○ アンインストール インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 ○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品 製品名 バージョン インストール済 ESMPRO. 実行 終了 図 3.1-12

ESMPRO/AC Enterpriseクライアントツールの使用方法については、スタートメニューの [ESMPRO\_AC\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]を起動した後の「ヘルプ」にてご確認 ください。

### 3.1.2 上書きインストールの場合

(1) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セ	ットアップ	>
-動作を選択	0 アン	インストール
L インストール/アンインストールを実施する製品を選択し なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおり O…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストール ×…未インストール	、チェックをつけてくださ です。 されているバージョンを	気で
サーバ系製品群   クライアント系製品   製品名	バージョン	インストール済
■ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	○(5.5) ○(5.5) × × × × ×
実行		終了

図 3.1-13

- (2) 「ESMPRO/AC Lite」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があり ます。
  - ◆ ESMPRO/AC Liteのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択します。サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AutomaticRunningControllerのチェックを有効にし、その後にESMPRO/AC Enterpriseチェックも有効にしてください。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セッ	トアップ	×
動作を選択 ・ インストール	0 7V	インストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールる ×…まインフトール	. チェックをつけてくださ す。 対れているバージョンを	代1。 (併記)
×…未1ノストール サーバ系製品群 製品名	バージョン	インストール済
<ul> <li>✓ ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>✓ ESMPRO/AC Enterprise</li> <li>□ ESMPRO/AC Advance</li> <li>□ ESMPRO/AC MSCSオプション</li> <li>□ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション</li> <li>□ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション</li> </ul>	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	O(5.5) O(5.5) × × × ×
実行		終了

🗷 3.1-14

◆ ESMPRO/AC Liteのクライアント系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオ ボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterpriseを選択し、チェックを有効にします。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	連製品セットアップ	×
-動作を選択	0 7243	ンストール
<ul> <li>インストール/アンインストールを実施する製品</li> <li>なお、インストール済に表示されている情報は以下の</li> </ul>		
○…同じバージョンの製品がイソストール済 △…異なるバージョンの製品がイソストール済( ×…未インストール	インストールされているバージョンを併	記〉
サーバ系製品群クライアント系製品		
製品名	バージョン	インストール済
■NESMPRO/AC Enterprise	5.5	<(5.5)
実行		\$7

図 3.1-15

- (3) 「実行」ボタンを選択します。
- (4) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.1-16

(5) ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示 されます。インストールを継続する場合は「はい」を選択します。



- (6) ファイルの転送が開始されます。
- (7) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningControl	ier セットアッブ
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンビュータへのESMPRO/AutomaticRunningControllerの インストールを完了しました。フログラムを使用する前に、コンビュータを再起動し てください。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

🗵 3.1-18

(8) 引き続き、ESMPRO/AC Enterpriseのセットアップが開始され、上書きインストールを実施 するか表示されます。インストールを継続する場合は「はい」を選択します。



図 3.1-19

- (9) ファイルの転送が開始されます。
- (10) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC Enterprise セットアップ	
	InstallShield Wizard の完了
	セットアッフ"は、コンピュータへのESMPRO/AC Enterpriseのインストールを完了しました。フログラムを使用する前に、コンピュータを再起動してください。
	< 戻る( <u>B</u> ) <b>完了</b> キャンセル

図 3.1-20

 (11) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterpriseのイン ストール済欄に「〇」およびバージョンが表示されていることを確認します。
 <サーバ系製品インストール後の画面>

֎ ESMPRO/AutomaticRunningController関連製	品セットアップ	×
動作を選択 で バンストール	0 72-	ロストール
インストール/アンインストールを実施する製品を通 なお、インストール済に表示されている情報は以下のと 〇…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インス ×…未インストール	翻し、チェックをつけてくださ おりです。 トールされているバージョンを(	↓ 1。 并言2)
サーバ系製品群(クライアント系製品) 製品名	バージョン	インストール済
■IESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSOSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプシ	5.5 5.5 5.5 ジョン 5.5 バョン 5.5	○(5.5) ○(5.5) × × × ×
実行		終了

図 3.1-21

Х

# 

○…同じハーションの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(イ) ×…未インストール	リストールされているバージョンを併	
サーバ系製品群 クライアント系製品		
製品名	バージョン	インストール済
■IESMPRO/AC Enterprise	5.5	○(5.5)
実行	ĥ	冬了

🗵 3.1-22

ESMPRO/AC Enterpriseクライアントツールの使用方法については、スタートメニューの [ESMPRO\_AC\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]を起動した後の「ヘルプ」にてご確認 ください。

### 3.1.3 バージョンアップインストールの場合

### (1) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セック	トアップ		×
@ <u>7727-11</u>	0 アン	インストール	
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	. チェックをつけてくだる	±ل،	
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。		
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールる ×…未インストール	執ているバージョンを	(并記)	
サーバ系製品群(クライアント系製品)			
製品名	バージョン	インストール済	
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.5	×	
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	×	
ESMPRO/AC Advance	5.5 5.5	×	
□ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	· 5.5	x	
□ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.5	×	
実行		終了	

図 3.1-23

- (2) 「ESMPRO/AC Lite」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があり ます。
  - ◆ ESMPRO/AC Liteのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択します。サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AutomaticRunningControllerのチェックを有効にし、その後にESMPRO/AC Enterpriseチェックも有効にしてください。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セ	!ットアップ	×
● 動作を選択 ● インストール	0 7V	インストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し なお、イットーいきに表示されている情報はリエのとおり	チェックをつけてくださ です。	il 10
O…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済 ×…未インストール	こう。 はれているバージョンを	併記〉
サーバ系製品群クライアント系製品	1.0 - 5 % 5 .	0.51
	ハーション	1.2ストール)資
<ul> <li>ESMPRO/AutomaticRunningController</li> <li>ESMPRO/AC Enterprise</li> </ul>	5.5	$\Delta(5.4)$ $\Delta(5.4)$
	5.5	×
□ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプショ	ン 5.5	x I
■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5	×
実行		終了

図 3.1-24

◆ ESMPRO/AC Liteのクライアント系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオ ボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterpriseを選択し、チェックを有効にします。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×
- 動作を選択		
● 12XF=ル	0.721.	リストール
インストール/アンインストールを実施する製品を	を選択し、チェックをつけてください	۱۰
なお、インストール済に表示されている情報は以下の	とおりです。	
○…同じバージョンの製品がイソストール済 Δ…異なるバージョンの製品がイソストール済(イ ×…未インストール	ソストールされているバージョンを併	記)
サーバ系製品群 クライアント系製品		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	<u>(5.4)</u>
実行	ħ	<u>گر</u>

図 3.1-25

- (3) 「実行」ボタンを選択します。
- (4) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.1-26

(5) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスシートの ライセンスキー①を入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	×
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。	
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.5	
ОК <i>キャ</i> ンセル	



(6) ESMPRO/AC Enterpriseのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示さ れます。インストールを継続する場合は「はい」を選択します。

質問	×
?	既にESMPRO/AutomaticRunningController Ver.5.41がインストールされて います。 上書きしますか?
	はい(2) いいえ(12)

図 3.1-28

(7) ファイルの転送が開始されます。

(8) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningControl	ler ช่งหวิงว
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンビュータへのESMPRO/AutomaticRunningControllerの インストールを完了しました。フログラムを使用する前に、コンビュータを再起動し てください。
	< 戻る( <u>B</u> ) <b>完了</b> キャンセル

🗵 3.1-29

(9) 引き続き、ESMPRO/AC Enterpriseのライセンスキーの入力画面が表示されますので、ライ センスシートのライセンスキー②を入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	×
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。 ESMPRO/AC Enterprise Ver5.5	
OK キャンセル	

🗵 3.1-30

(10) ESMPRO/AC Enterpriseのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示 されます。インストールを継続する場合は「はい」を選択します。



🗷 3.1-31

- (11) ファイルの転送が開始されます。
- (12) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



🗵 3.1-32

 (13) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterpriseのイン ストール済欄に「〇」およびバージョンが表示されていることを確認します。
 <サーバ系製品インストール後の画面>

🍿 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	×
動作を選択 ・ インストール	0 <i>T</i> V	インストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選抜 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストー ×…未インストール	れ、チェックをつけてくだき 」です。 ルされているバージョンを	に, 1。 (并記)
サーハ糸製品群 (ウライアンド系製品) 製品名	バージョン	インストール済
■ESMPRO/AutomaticRunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance ■ESMPRO/AC MSCSオプション ■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプショ ■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプショ	5.5 5.5 5.5 5.5 ■ン 5.5 ン 5.5	<u>○(5.5)</u> × × × × ×
実行		終了

🗵 3.1-33

### <クライアント系製品インストール後の画面>

参 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	自製品セットアップ	×
		]
r Adal-m	0 <b>7</b> 74	ンストール
	を選択し、チェックをつけてください	١٥
なお、インストール済に表示されている情報は以下の	りとおりです。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(1 ×…未インストール	(シストールされているバージョンを伊	記)
サーバ系製品群 クライアント系製品		
製品名	バージョン	インストール済
IESMPRO/AC Enterprise	5.5	○(5.5)
実行	á	冬了

🗷 3.1-34

ESMPRO/AC Enterpriseクライアントツールの使用方法については、スタートメニューの [ESMPRO\_AC\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]を起動した後の「ヘルプ」にてご確認 ください。

### 3.2 SNMP カードの設定

ESMPRO/AC Liteを使用する場合は、Smart-UPS相当無停電電源装置 に SNMPカード を実装し制 御する必要があります。

以下に、このSNMPカードのネットワーク設定、および、Webによる設定手順を記載します。

3.2.1 SNMP カードのネットワーク設定

UPS の電源を入れ、Network Management Card が使用する IP アドレスなどのネットワーク設定 を行います。

SNMP カードの IP アドレス設定方法の詳細については、SNMP カードの製品に同梱されたド キュメントを参照して、設定を行ってください。

SNMP カードの IP アドレスを設定後、ping コマンド等にて対象の SNMP カードと通信可能か どうか確認し、通信可能となりましたら「3.2.2 Web による設定」へ進んでください。

### 3.2.2 Web による設定

SNMPカードのIPアドレス設定終了後、設定が正常であれば、サーバからUPSのIPアドレスに Microsoft Edge等でアクセスすると以下のようなログイン画面が表示されます。

(A)のログイン画面が表示された場合は「3.2.2.2 Web画面による設定(A)」を参照してください。 (B)のログイン画面が表示された場合は「3.2.2.3 Web画面による設定(B)」を参照してください。 (C)のログイン画面が表示された場合は「3.2.2.4 Web画面による設定(C)」を参照してください。

#### ※注意

Windows OSによっては「7.1 セットアップ関連」の(3)に記載されているセキュリティ設定を行わないとログイン画面が表示されません。

ファイルノド		×	102 22
27.130(1	) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ソール(E) ヘルプ(E)	^ [_]	
	Login	- 1	
	Language		
	Use Current Language	~	
	User Name		
	9		
	Password		
	$\mathcal{P}$		
	Log On		
	Reset		
	Sc	Electric	
	図 3.2-1		
	(=) 1 http://172.16.1.163/NMC/C23ZzsMsLw4ZX Q - C	×	~ ~ ~ ~
771	レ(D) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)		60 X 93
	レ(E) 編集(E) 表示(Y) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)		ው እን 
	レ(E) 編集(E) 表示(L) お気に入り(A) ツール(E) ヘルプ(H)		ໝ አវ ነስ 
	LE) 編集(E) 表示(Y) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)		
	Login		
	U(D 編集(D 表示(L) お気に入り(A) ツール(D ヘルプ(H))		
	Up 編集(E) 表示( <u>い</u> お気に入り( <u>A</u> ) ツール( <u>D</u> ヘルプ( <u>H</u> ) Login	ent Language 🗸	
	Up 編集(p) 表示( <u>い</u> お気に入り( <u>A</u> ) ツール( <u>D</u> ヘルプ( <u>H</u> )) Login	ent Language V	
	Up 編集() 表示() お気に入り(A) ツール() ヘルプ(H)	ent Language 🗸	
	Login Use Curre User Name: Password:	ent Language V	
	Login Use Curre User Name: Password:	nt Language V	
	Up 編集() 表示() お気に入り(A) ツール() ヘルブ(H) Login Use Curre User Name: Password: Log C	ent Language V	
	Up 編集() 表示() お気に入り(A) ツール() ヘルブ(H)  Login  Use Curre User Name: Password: Log (	ent Language V	
	Login     Use Curre       User Name:	ent Language V In Reset	
	Login Use Curre User Name: Password: Log C SCCC	Int Language V In Reset	



🗲 🕞 🏉 http	://172.16.1.13	19/logon.htm	A 🎒 ٹ - ک	PC   Log On	× 📑	☆ ☆ \$\$
ファイル( <u>F</u> ) 編集( <u>E</u> )	表示(⊻) お	お気に入り( <u>A</u> ) ツール(	① ヘルプ( <u>H</u> )			
		User Name: Password: Log On	Reset		1	
				Δi	×	

(C)

図 3.2-3

#### 3.2.2.1 N8180-81 SmartUPS 用 SNMP カード(NMC3)の初期設定

N8180-81 SmartUPS用 SNMPカード(NMC3)の初期設定について記載します。

N8180-81 SmartUPS用 SNMPカード(NMC3)の場合、工場出荷時はSNMPv1が無効となっているため、 SNMPv1を有効にする必要があります。N8180-81 SmartUPS用 SNMPカードにWebブラウザからログイ ンすると、次のようなWeb画面になります。

/編乗(E) 衣示(V		
Elect		PS Network Management Card 3 hart-UPS Application At Every Level Mobile visibility into your devices 9 apc   English   D Log Off
Home Sta	tus 🗸 Contr	ol + Configuration + Tests + Logs + About +
lome		
lodel		Location
mart-UPS X 30	000	Unknown
Mart-UPS X 30 No Alarms P • UPS is O	000 Present nline in Green N	Unknown fode.
Mart-UPS X 30 No Alarms P • UPS is Or Recent Dev	ooo Present nline in Green M vice Events	Unknown fode.
mart-UPS X 30 No Alarms P • UPS is Or Recent Dev Date	ooo Present nline in Green M vice Events Time	Unknown riode. : Event
mart-UPS X 30 No Alarms P UPS is Ol Recent Dev Date 06/23/2021	ooo Present nline in Green M vice Events Time 13:42:18	Unknown fode.  Event US: Restored the local network management interface-to-UPS communication.
mart-UPS X 30 No Alarms P • UPS is Or Recent Dev Date D6/23/2021	000 Present nilne in Green M vice Events Time 13:42:18 13:24:26	Unknown Node.
mart-UPS X 30 No Alarms P • UPS is Or Recent Dev Date D6/23/2021 D6/23/2021	000 Present nline in Green N vice Events Time 13:24:26 13:24:26	Unknown Node.
mart-UPS X 30 No Alarms P UPS is Or Recent Dev Date 06/23/2021 06/23/2021 06/23/2021	000 Present Inline in Green N Vice Events Time 13:42:18 13:24:26 13:24:26 13:24:26	Unknown Node.

図 3.2-4

「Configuration」のメニューを選択し、「Network」→「SNMPv1」→「Access」を選択してください。

Home Sta	tus 👻 Contr	ol 👻	Configuration -	Tests	- Logs -	About -
Home			Outlet Groups Power Settings			
Model Smart-UPS X 30 Vo Alarms P • UPS is Or	000 resent nline in Green M	lode.	Shutdown UPS Self-Test Schedule	e	Location Unknown	
Recent Dev	vice Events		Firmware Update			
Date	Time	Eve	PowerChute Clien	ts		
06/23/2021	13:42:18	UP	Security	•		-to-UPS communication.
06/23/2021	13:24:26	UP	Network	•	Summary TCP/IP	,
06/23/2021	13:24:26	UP	General	•	Port Speed	
06/23/2021	13:24:26	UP	Logs	•	DNS	up 1, is off.
06/23/2021	13:24:26	UPS	: The power for the r	main	Web Console SNMPv1	, is off. Access More Events
owledge Base	Schneider Electr	ric Produ	uct Center   Schneide	er Ele	SNMPv3	<ul> <li>Access Control</li> <li>Schneider Electric. All rights re</li> </ul>

図 3.2-5

以下の画面に遷移しますので「Enable」にチェックをし、Applyで設定を反映してください。

Schneider	UPS Network	Management C	ard 3 Eco		Г	🔮 No Alari
<b>G</b> Electric	Smart-UPS Applic	ation	Mobile vis	ibility into your devices	ົ	🗍 Log Off   Help
Home Status <del>-</del>	Control - Confi	guration - Tests	▪ Logs ▪	About 👻		
Configure SNM	Pv1 Access					
SNMPv1 Access	_					
SNMPv1 Access						
Apply Cancel						
Knowledge Base   Schneig	ter Electric Product (	Center   Schneider Ele	ectric Downloads		© 2020, Schneider	Electric. All rights reserv

図 3.2-6

画面上部にSNMPカードの再起動を促すメッセージが表示された場合はSNMPカードを再起動してください。

Schneide Gelectr	UPS N Smart-UF	etwork Manager	ment Card 3	Eco Innovation Mobile visibi	At Every Level III	9 apc   Engli	Sh   🕸 Log Off   He
Home Status	Control -	Configuration -	Tests 👻	Logs 🚽 🖊	About 👻		
Configure S	NMPv1 Ac	cess					
SNMPv1 Acces SNMPv1 Access	SS						
Apply Cancel							
Knowledge Base   So	hneider Electric F	Product Center   Schr	neider Electric D	ownloads		© 2020, Schneid	ler Electric. All rights rese

再起動は「Control」のメニューを選択し、「Network」→「Reset/Reboot」を選択してください。

Schneider Blectric	UPS N Smart-U	letwork Manage PS Application	ment Card	3 EcoOtruxure Innovation At Every Level Mobile visibility into your devices
Home Status <del>-</del>	Control -	Configuration -	Tests 🗸	Logs - About -
Status	UPS Outlet Grou	ıps		
Current IPv4 Set system IP 172.16.1.158	Security Network	Post 255,255,255,0	t/Reboot	Default Gateway
Mode Manual				

🗵 3.2-8

### 「Reboot Management Interface」にチェックをし、Applyを選択してください。

So	chne GEI	eider lectric	UPS No. Smart-UP	etwork Manager S Application	nent Card 3	Eco Innovat Mobile v	Cruxure IT	♥ No Alarms 9 apc   English   과 Log Off   Help   ★
	Home	Status -	Control <del>-</del>	Configuration -	Tests -	Logs <del>-</del>	About 👻	
	Reset	/Reboot						
	Reset/	Reboot Ne	etwork Inte	rface				
1	Reboot	t Management	Interface					
	O Reset /	All						
		Exclude TCP/	P					
	O Reset (	Only						
		TCP/IP						
		Event Configu	ration					
		UPS to Defaul	ts (includes PC	CNS Authentication F	hrase)			
		Control Policy						
C	Apply	ancel						
Ki	nowledge B	3ase   Schneid	er Electric Pro	duct Center   Schnei	der Electric Dov	vnloads	© Site Map	2020, Schneider Electric. All rights reserved. Updated: 10/22/2021 at 10:47 (172.16.1.158)

#### 図 3.2-9

Apply を押すと SNMP カードが再起動します。

Schneider Electric	UPS Network Management Card 3 Eco Smart-UPS Application Mobile visit	At Every Level intruito your devices
Home Status -	Control → Configuration → Tests → Logs →	About 👻
Confirm Action		
Reset/Reboot Network Interface Confirmation This action will reboot the Network Management Interface. (Some actions may take significant time to process.) Continue?		
Apply Jancel Knowledge Base   Schneider	Electric Product Center   Schneider Electric Downloads	© 2020, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map   Updated: 10/22/2021 at 10.48 (172.16.1.158)

🗵 3.2-10

再度 SNMP カードログイン後に「3.2.2.2 Web 画面による設定(A)」の手順を実施してください。

#### ※注意

N8180-81 SmartUPS用 SNMPカード(NMC3)でFirmwareのバージョンが2.4.x 以降を ご使用の場合は、日本語を指定してログインするとSNMPカード(NMC3)の再起動が発 生する場合があります。以下のURLから対処を実施してください。

https://www.apc.com/jp/ja/faqs/FAQ000267929
(A)のログイン画面にてログインすると、次のようなWeb画面になります。

ル( <u>F</u> ) 編集( <u>E</u>	) 表示( <u>V</u> ) お気に入り( <u>A</u> ) ツール( <u>I</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )	
	UPS Network Management Card 2       Image: Constraint of the state of	
	Home Status - Control - Configuration - Tests - Logs - About -	
	Home	
	Model Smart-UPS X 3000	
	Location Unknown	
	No Alarms Present     UPS is Online in Green Mode.	
	Recent Device Events	
	Date Time Event	
	04/02/2019 16:28:35 UPS: No longer on battery power.	
	04/02/2019 16:28:34 UPS: On battery power in response to distorted input.	
	04/02/2019 13:58:48 UPS Self-Test passed.	
	04/02/2019 13:58:40 UPS: Self-Test started by automatic timer.	
	04/02/2019 13:58:23 UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned on.	
	More Events >	
	Knowledge Base   Schneider Electric Product Center   Schneider Electric Downloads © 2018, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map   Updated: 04/03/2019 at 09:13 (172.16.1.169)	
		<b>•</b>

#### ※注意

Smart-UPSの機種名が表示されることをご確認ください。 (「Unknown」はSNMPカードの初期値であり、本製品では使用しません。) もし、表示されていない場合は、SNMPカードが接触不良になっている可能性が考えられ ますので、以下の操作を行なってください。

①UPSの電源をOFFし、SNMPカードをさし直してみる。
 ②カードをさし直しても状態が変わらない場合は、リセットしてください。リセットしますと、情報の再設定が必要となりますのでご注意ください。

「Configuration」のメニューを選択し、「General」を選択、「Date/Time」→「Mode」と選択すると以下の画面になります。現在の日付と時刻の設定を行ってください。

◆日付と時刻の設定方法

下記①②のどちらかの設定方法で、日付と時刻を設定してください。

①日付、時刻を直接入力する方法

「Manual」を選択し、「Date」、「Time」を入力後、「Apply」を選択してください。 ②コンピュータから日付と時刻を読み出し設定する方法

「Manual」を選択し、「Apply local computer time」のチェックを有効にし、「Apply」を 選択してください。

<ul> <li>マティング http://172.16.1.169/N</li> <li>ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気(</li> </ul>	MC/M40uY0TWI0hc2OSYERF7IQ/daten に入り(A) ツール(五) ヘルプ( <u>H</u> )	nan.htm $ ho$ - C UPS Ne	twork Management ×	- □ × ☆☆☺
S		etwork Management Card 2 SMatrix Application	Sapc English   ﷺ Log Off   Heli	rms ⊳∣⊀
	Home Status <del>+</del> Control <del>+</del> Co	onfiguration + Tests + Logs + About +		
D	ate/Time Mode			
C D 0. 0.	Current Settings ate 4/03/2019 ctive Primary NTP Server 0.0.0	Time 09:13:49 Active Secondary NTP Server 0.0:0.0	Daylight Saving Time Disabled	
S	System Time Configuration ime Zone 09:00 hours (Osaka, Sapporo, Tokyo) N	2		
G	Date mm/dd/yyyy 04/03/2019 Time hh:mm:ss 09:13.49 Apply local computer time.			
c	Synchronize with NTP Server Override Manual NTP Settings Primary NTP Server 0.0.0.0	-		
	Secondary NTP Server 0.0.0.0 Update Interval [1 to 8760]			
	336 hours Update using NTP now.			
Knov	vledge Base   Schneider Electric Product	Center   Schneider Electric Downloads	© 2018, Schneider Electric. All rights re: Site Map   Updated: 04/03/2019 at 09:13 (172.16	served. 1.180)

図 3.2-12

「Configuration」のメニューを選択し、「Network」→「SNMPv1」→「Access Control」と選択すると 以下の画面になります。「Community Name」に登録されている識別名を選択し、「Access Control」 に登録を行ってください。

→ ♪ http://172.16.1.169/NMC/yxcMovBQjxS+HW マイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ツール(E) Λ	gyuBVOCw/snmpacc.htm	ー □ >> Management × □* 命☆ 戀
Schneider Electric <sup>UPS</sup>	Network Management Card 2 UPS/Matrix Application	♥ No Alarms 🤉 apc   English   🗊 Log Off   Help   🖈
Home Status - Control -	Configuration - Tests - Logs - Ab	pout 🗸
Configure SNMPv1 Acc Access Control	NMS IP/Host Hame	Access Type
public	172.16.1.15	Write +
public	172.16.1.62	Write +
public2	172.16.1.255	Write +
public	172.16.1.255	Write +
Knowledge Base   Schneider Electric Produ	ict Center   Schneider Electric Downloads	© 2018, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map   Updated: 04/03/2019 at 09:29 (172.16.1.169)

🗵 3.2-13

Community Name	: SNMPで使用する識別名 (初期値 : public)。
NMS IP/Host Name	: SNMPでアクセスするサーバのIPアドレス。
	制御端末用UPS、周辺装置用UPSは、制御端末のIPアドレスのみで問
	題ありません。
	クラスタサーバ用UPSは、制御端末のIPアドレスとクラスタサーバの
	IPアドレス。
Access Type	:「Write+」または「Write」を選択してください。
	「Write+」が選択肢に表示される場合は、「Write+」を選択してください。

#### 注意:

サーバに複数のLANボードがある場合や、複数のIPアドレスを持つ場合には、SNMPカードに対し アクセスする際に使用されるIPアドレスを登録してください。

サーバが複数のIPを持っている場合に、後述のAMC画面での設定で、UPS情報がSNMPにて採取 できない時には、SNMPカードに登録したサーバのIPアドレス以外が実際には使われている可能性 があります。SNMP カードに登録するIPアドレスをサーバの持つ別のIPアドレスに変更するなど して、実際に使用されているIPアドレスを登録してください。(登録数に問題なければ、同一サー バのIPを複数登録しても構いません。)

使用しない「Community Name」および「NMS IP/Host Name」が設定されている項目の「Access Type」については、「Disabled」に設定しておいてください。

「Community Name」、「NMS IP/Host Name」、「Access Type」を入力し、「Apply」を選 択してください。

く ② http://172.16.1.169/NMC/yxcM0vBQjxS+HWgyuBVOCw/snmpacfg.htm <sup>・</sup> タマ C の UPS Network Management × ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(E)	- □ × ♪ ☆ ☺ ৩
Scheider Electric <sup>-</sup> UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application	♥ No Alarms 9 apc   English   및 Log Off   Help   ★
Home Status ← Control ← Configuration ← Tests ← Logs ← About ←	
Configure SNMPv1 Community Access Control Community Name public NMS IP/Host Name 172.16.1.255 Access Type Write+	
Knowledge Base   Schneider Electric Product Center   Schneider Electric Downloads Site M	© 2018, Schneider Electric. All rights reserved. iap   Updated: 04/03/2019 at 09:29 (172.16.1.169)

図 3.2-14

「Configuration」のメニューを選択し、「Security」→「Local Users」→「Management」と 選択すると、登録されているユーザー覧が表示され、ユーザ名を選択すると、以下の画面に なります。

<ul> <li>         ・</li></ul>	sercfg.htm?user 🍳 🗸 🖒 🖉 UPS Network Management × 📑	- ロ × 命☆ <sup>鍛</sup> 🧐
Schneider Electric <sup>-</sup> UPS Network	K Management Card 2 K Application Q a	♥ No Alarms pc   English   ᠗ Log Off   Help   ★
Home Status   Control   Configura	ation ▼ Tests ▼ Logs ▼ About ▼	
User Management Configurat	ion	
User Configuration Access Imable User Name apc Current Password New Password Confirm Password		
User Description User Description		
Session Timeout [1 to 60 minutes] 3 Serial Remote Authentication Override Enable		

🗷 3.2-15

セキュリティの為、デフォルトで使用しているアカウント: apc等の設定を変更しておくことをお勧めします。

注意:変更したアカウント名・パスワードは忘れないようにしてください。 (忘れた場合、お客様ご自身によるリセットおよび設定変更はできなくなります。)

# 3.2.2.3 Web 画面による設定(B)

(B)のログイン画面にてログインすると、次のようなWeb画面になります。

Schneide Gelectr	ic Smart-UPS/	ork Managemen Matrix Application	t Card 2			🎸 No Alarms apc   English   Log Off   Help   🚔
Home	Status	Control	Configuration	Tests	Logs	About
Smart-UPS X 3000:	Unknown					
Vo Alarma Pres UPS is Onl	ent line in Green Mode.					
Recent Device Even	ts					
Date	Time	Event				
04/02/2019	16:41:08	UPS: passed via i	nternal operation a self-test.			
04/02/2019	16:41:00	UPS: Started a se	IF-IESE or switched outlot group 2. Outl	at Group 3, is now turn	ad on	
04/02/2019	16:40:43	UPS: The power f	or switched outlet group 3, Out	et Group 3, is now turne	ed on	
04/02/2019	16:40:43	UPS: The power f	or switched outlet group 2, Out	et Group 1, is now turn	ed on.	
			図 3.2-16	5		
※注意 Smart-UF (「Unknow もし、表示 ますので	PSの機種名: wn」はSNM 示されていな 以下の拇	が表示され。 IPカードの ない場合は、 作を行なって	ることをご確認 初期値であり、 SNMPカードが てください	ください。 本製品では依 接触不良にご	使用しません なっている	ん。) 可能性が考えられ

「Configuration」のメニューを選択し、「General」を選択、「Date & Time」→「mode」と選択 すると以下の画面になります。現在の日付と時刻の設定を行ってください。

◆日付と時刻の設定方法

下記①②のどちらかの設定方法で、日付と時刻を設定してください。

①日付、時刻を直接入力する方法

「Manual」を選択し、「Date」、「Time」を入力後、「Apply」を選択してください。 ②コンピュータから日付と時刻を読み出し設定する方法

「Manual」を選択し、「Apply local computer time」のチェックを有効にし、「Apply」を 選択してください。

	er UPS Net	work Manageme S/Matrix Application	nt Card 2			apc   English   Log	ິ NoAlan gOff   Help   <mark> </mark>
Home	Status	Control	Configuration	Tests	Logs	About	
Current Sett	ings						
Date: Time: Daylight Savin	g Time:		04/03/2019 09:55:49 Disabled				
Active Primary Active Second	NTP Server: ary NTP Server:		172.16.1.1 0.0.0.0				
System Time	e Configuration						
Time Zone:			09:00 hours (Osaka, Sap	ooro, Tokyo) 🗸			
Manual							
Date	2:		04/03/2019 mm/dd	уууу			
Time	9:		09:55:49 hh:mm:s	3			
🗆 Ap	ply local computer time	).					
O Synchroniz	e with NTP Server						
Ov	erride Manual NTP Se	ttings					
Prim	ary NTP Server:		172.16.1.1				
Sec	ondary NTP Server:		0.0.0.0				
Upd	ate Interval:		24 hours [1 to 8]	760]			

図 3.2-17

「Configuration」のメニューを選択し、「Network」→「SNMPv1」→「Access Control」と選択すると以下の画面になります。「Community Name」に登録されている識別名を選択し、「Access Control」に登録を行ってください。

	der UPS Ner tric Smart-UP	twork Managemer S/Matrix Application	nt Card 2			<mark>apc</mark>   English   Lo	og Off   Help   📕
Home	Status	Control	Configuration	Tests	Logs	About	
Access Co	ntrol						
Community N	lame	<u>NI</u>	MS IP/Host Name		Access Type		
public public		17 17	2.16.1.61 2.16.1.255		Write + Write +		
public		17	2.10.1.02		Write +		
private		17	2.10.1.106		write +		

図 3.2-18

Community Name	: SNMPで使用する識別名 (初期値 : public)。
NMS IP/Host Name	e : SNMPでアクセスするサーバのIPアドレス。
	制御端末用UPS、周辺装置用UPSは、制御端末のIPアドレスのみで問
	題ありません。
	クラスタサーバ用UPSは、制御端末のIPアドレスとクラスタサーバの
	IPアドレス。
Access Type	:「Write+」または「Write」を選択してください。
	「Write+」が選択肢に表示される場合は、「Write+」を選択してください。

## <u>注意:</u>

サーバに複数のLANボードがある場合や、複数のIPアドレスを持つ場合には、SNMPカードに対し アクセスする際に使用されるIPアドレスを登録してください。

サーバが複数のIPを持っている場合に、後述のAMC画面での設定で、UPS情報がSNMPにて採取 できない時には、SNMPカードに登録したサーバのIPアドレス以外が実際には使われている可能性 があります。SNMP カードに登録するIPアドレスをサーバの持つ別のIPアドレスに変更するなど して、実際に使用されているIPアドレスを登録してください。(登録数に問題なければ、同一サー バのIPを複数登録しても構いません。)

使用しない「Community Name」および「NMS IP/Host Name」が設定されている項目の「Access Type」については、「Disabled」に設定しておいてください。

「Community Name」、「NMS IP/Host Name」、「Access Type」を入力し、「Apply」を選 択してください。

Chneic Celec	tric Smart-UP	twork Management S/Matrix Application	nt Card 2			<mark>apc   English   L</mark> e	🎸 No Alarm og Off   Help   📕
Home	Status	Control	Configuration	Tests	Logs	About	
Access Con	trol						
Community Na NMS IP/Host N	ime: Name:	р 1	ublic				
Access Type: Apply Ca	ancel	V	vrite+ V				

図 3.2-19

「Configuration」のメニューを選択し、「Security」→「Local Users」→「Management」と選 択すると、登録されているユーザー覧が表示され、ユーザ名を選択すると、以下の画面になり ます。



#### 図 3.2-20

セキュリティの為、デフォルトで使用しているアカウント : apc等の設定を変更しておくこと をお勧めします。

注意:変更したアカウント名・パスワードは忘れないようにしてください。 (忘れた場合、お客様ご自身によるリセットおよび設定変更はできなくなります。) (C)のログイン画面にてログインすると、次のようなWeb画面になります。

				UPSのIP アドレスを確認してください。	0
					– 🗆 X
	http:// <b>172.16.1.139</b> /NM	IC/pdYz+X8QX	DEs9AEXiZ7Ftg/home	♀ × ○ 172.16.1.139の待機中 × □	슈 숬 慫 🙂
ファイル( <u>F</u> ) 編集	[(E) 表示(⊻) お気に)	入り( <u>A</u> ) ツル	D ヘルプ( <u>H</u> )		
	(j) 172.16.1.139			Help   Log	off [-
	Home UPS	Logs Ad	ministration		
				🧭 No J	Alarms
	Smart-UPS 1500		130 at Unknown		
	No Alarmo I	brasan	iss at onthorn		
	<ul> <li>UPS is on</li> </ul>	line.			
				などの設定変更で使用します	_
	Recent Device E	vents	Event		
	2019-04-02	17:25:02	UPS: Passed a sel	lf-test.	
	2019-04-02	17:25:02	UPS: The output p	power is now turned on.	
	2019-04-02 2019-02-26	17:25:02 17:26:17	UPS: Started a se UPS: The output r	ower is turned off.	
	2019-02-26	08:53:38	UPS: Passed a sel	If-test.	
				More Even	its >
	)				
	Link 1   Link 2   Link	: 3		UPS Network Management Card	PC
C	9 1995 - 2007, American Po	wer Conversion C	Corp. All rights reserved.	Updated: 2019-04-02	at 17:25
172.16.1.139 からの	応答を待っています				🔍 100% 🔻 🚊
				図 3.2-21	
			\		-
	※注意				
	Smart-UF	PSの機種	名が表示され	ぃることをご確認ください。	
	([Unknow	vn i I‡SN	MPカードの	初期値であり、本製品では使用しません。)	
	(************************************	示 さわて	いたい提会け		
	しし、衣	テンセナ	いない場合で オので いつ	この場合を行たってください	
	肥性が考	へられま	900℃、以1	「WTATEで1」なりしてたさい。	
		雪酒た∩		Dカー ドをさし 直し アユス	
		电源でい	i し、SINIVIF i テナ44部コ	・ルードででし回してのる。 が赤ねこたい坦会け、リムットトナッナノ	
	マリート	てさし固	ししも祆悲れ	い炙れらはい场百は、リセツトししみしく 	
	たさい	ヽ。 リセッ ヽ <u>・</u> ・	「トしますと、	、 旧報の冉設定か必要となりますのでこ注	
	意くた	ころい。			

「Administration」のタブを選択し、「General」を選択、「Date & Time」→「mode」と選択す ると以下の画面になります。現在の日付と時刻の設定を行ってください。

- ◆日付と時刻の設定方法 下記①②のどちらかの設定方法で、日付と時刻を設定してください。 ①日付、時刻を直接入力する方法
  - 「Manual」を選択し、「Date」、「Time」を入力後、「Apply」を選択してください。 ②コンピュータから日付と時刻を読み出し設定する方法

「Manual」を選択し、「Apply local computer time」のチェックを有効にし、「Apply」を 選択してください。



図 3.2-22

「Network」を選択し「SNMPv1」→「access control」と選択すると以下の画面になります。「Community Name」に登録されている識別名を選択し、「Access Control」に登録を行ってください。

(-) (2) http://172.16.1.139/NM	/IC/pdYz+X8QXoEs9AEXiZ7Ffq/snmr	・ で 「 @ APC I UPS Network Man	age X 📫	- □ × 命☆磯 <sup>(1)</sup>
ファイル(F) 編集(F) 表示(M) お気に	λ θ(Δ) ッ-Ψ(T) Δ Ψ-プ(H)			
① 172.16.1.139			Helr	n Lion Off ⊡
Home UPS	Logs Administration			
Security Netw	work Notification General			No Alarms
700 (70				
ТСР/ТР	Access Control			
Port Speed				
DNS	Community Name	NMS IP/Host Name	Access Type	
servers	public	1/2.16.1.21	Write +	
naming	public	172.16.1.86	Write +	
test	public	172.16.1.15	Write +	
Web				
access				
ssl cipher suites				
ssl certificate				
Console				
access				
ssh encryption				
ssh host key				
SNMPv1				
access				
access control				
SNMPv3				
access				
user profiles				
access control				
FTP Server				
WAP				
Link 1   Link 2   Lin	k 3	UPS Network M	lanagement Card	
© 1995 - 2007, American P	ower Conversion Corp. All rights reserved.		Updated: 2019	-04-02 at 17:27
				€ 100% -

図 3.2-23

Community Name : SNMPで使用する識別名(初期値: public)

NMS IP/Host Name : SNMPでアクセスするサーバのIPアドレス。

制御端末用UPS、周辺装置用UPSは、制御端末のIPアドレスのみで問 題ありません。

クラスタサーバ用UPSは、制御端末のIPアドレスとクラスタサーバの IPアドレス。

Access Type :「Write+」または「Write」を選択してください。

「Write+」が選択肢に表示される場合は、「Write+」を選択してください。

#### <u>注意:</u>

サーバが複数のLANボードがある場合や、複数のIPアドレスを持つ場合には、SNMPカードに対し アクセスする際に使用されるIPアドレスを登録してください。

サーバが複数のIPを持っている場合に、後述のAMC画面での設定で、UPS情報がSNMPにて採取 できない時には、SNMPカードに登録したサーバのIPアドレス以外が実際には使われている可能性 があります。SNMP カードに登録するIPアドレスをサーバの持つ別のIPアドレスに変更するなど して、実際に使用されているIPアドレスを登録してください。(登録数に問題なければ、同一サー バのIPを複数登録しても構いません。)

使用しない「Community Name」および「NMS IP」が設定されている項目の「Access Type」については、「Disabled」に設定しておいてください。

「Community Name」、「NMS IP/Host Name」、「Access Type」を入力し、「Apply」を選 択してください。

)))	http:// <b>172.16.1.139</b> /NMC/pc	IYz+X8QXoEs9AEXiZ7F	fg/snm; 🔎 👻 🕻	🖄 🥔 APC   UPS Network Manage 🗙 📑		6 1 1
イル( <u>F</u> ) 編集	集( <u>E</u> ) 表示(⊻) お気に入り( <u>A</u>	<u>A) ツール(T) ヘルプ(E</u>	<u>+</u> )			-
	() 172.16.1.139				Help   Log Off [	ġ.
	Home UPS Lo	Administrati	ion			
	Security Network	Notification G	eneral		🕗 No Alarms	5
	TCP/IP	Access Control				
	Port Speed	Community Nam				
	DNS	Community Nam	e:	public	-	
	servers	NMS IP/Host Nar	ne:		5	
	naming	Access Type:		write+ 🗸		
	test	Apply Can	cel			
	Web					
	access					
	ssl cipher suites					
	ssi certificate					
	Console					
	access					
	ssh encryption					
	SNMPv1					
	access					
	access control					
	SNMPv3					
	access					
	user profiles					
	access control					
	FTP Server					
	WAP					
	Link 1   Link 2   Link 3			UPS Network Managemen	t Card APC	:
(	© 1995 - 2007, American Power (	Conversion Corp. All rights	reserved.	ι	Jpdated: 2019-04-02 at 17:	29

🗷 3.2-24





#### 図 3.2-25

セキュリティのため、デフォルトで使用しているアカウント:apc等の設定を変更しておくことをお勧めします。

注意:変更したアカウント名・パスワードは忘れないようにしてください。 (忘れた場合、お客様ご自身によるリセットおよび設定変更はできなくなります。)

# 3.3 AMC 機能

ESMPRO/AC Lite では、AMC (AC Management Console)機能によるサーバ構成での自動電源運転制御をサポートしています。

ESMPRO/AutomaticRunningController グループの「ESMPRO\_AC 環境ウィザード」アイコンを起動すると、下記ウィンドウが表示されます。

環境設定ウィザードのボタンを押してください。

/叠 ESMPRO/AC 環境ウィザード	-	×
774h(E) ~h/J <sup>*</sup> (H)		 
環境設定ウィザード 設定支援機能でツリーを作成 マルチサーバ構成の設定 (AMCの起動)		Ŷ
ESMPRO/AutomaticRunningController : Ver5 がインストールされています。 ESMPRO/AC Enterprise : Ver5 がインストールされています。 ESMPRO/AC Advance : インストールされていません。 PowerChute Business Edition : インストールされていません。 ESMPRO/UPSManager : インストールされていません。 サーバ SmartLIPS		
SmartUPS		ľ
۲		×

🗷 3.3-1

(2) 「STEP1」のダイアログが表示されますので、「UPS をネットワーク経由で制御し電源管理/自動 運転を行う」を選択して、「次へ」を選択してください。

環境設定ウィザート	STEP1			×
どのよう	にして、自動運転を行うか選択	してください。		
ſ	JPSをネットワーク経由で制御し	,電源管理/自動運転	を行う	
C	owerChute Business Edition	っと連携して自動運転る	2íTô	
с	JPS を使用せずに自動運転を行	τõ		
		< 戻る( <u>B</u> )	次へ( <u>N</u> ) >	キャンセル

図 3.3-2

(3) 「STEP3」の画面が表示されますので、「完了」を選択してください。

自動運転モード UPSをネットワーク経由で制御し電源管理/自動運転を行う	
	-
< 戻る(B) 完了 キャンセル	-

図 3.3-3

(4) 確認ダイアログが表示されますので、「はい」を押してください。



図 3.3-4

(5) AC Management Console (AMC)の起動を行うかどうかの確認ダイアログが表示されます。ここで は、「いいえ」を選択してください。



図 3.3-5

「いいえ」を選択後、以下のメッセージが表示されますので、「OK」を押してください。



(6) 「環境設定ウィザード」ボタンによる設定完了後、以下のような画面になります。「設定支援機能 でツリーを作成」ボタンを押してください。



🗷 3.3-6

(7) 「AC Management Console 簡易設定支援 – ESMPRO/AC Enterprise」が起動されます。

	-	×
マルチサーバ構成          「花長電源構成           クラスタ(マルチサーバ)構成             設定ファイル作成           構成表示           設定ファイル作成		~
設定を行いたい構成の【構成表示】ボタンを押すと 構成情報が表示されます。		
<		×

図 3.3-7

この[AC Management Console 簡易設定支援]では、サーバ構成の基礎部分の設定を行います。後で 説明する「AC Management Console」のみで設定は可能ですが、この[AC Management Console 簡 易設定支援]にて、基礎部分の設定をすることをお勧めします。

## <u>注意</u>

- ・ 設定ファイル作成中に登録するサーバ名は、コンピュータ名を設定してください。
- [AC Management Console 簡易設定支援]で設定する UPS 名や、後述する AC Management Console の「電源装置」画面にて設定する UPS の名称は、半角英数字および半角のアンダー スコア('\_')のみを使用した必ず一意な名称にしてください。(例: "SMUPS123"や "SUPS\_123"など)

N8180-60 の SNMP カードで FW rev 6.0.6 未満をご使用の場合、UPS の名称は 8 文字固定としてください。8 文字未満で UPS の名称を設定した場合、サーバと UPS 間の通信負荷等の状況によっては予期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがあります。

- サーバ1台、UPS1台のサーバ構成を行うには、以下のように登録します。
- (7-1)サーバ構成に接続する UPS 台数とそのグループ名を入力します。
  - ※「電源装置」、「連動装置」、「制御端末」、「連動端末」は予約された文字列です。 グループ名を登録する際には、これらの予約された文字列と完全一致する文字列を指定 しないでください。 また、登録済のサーバ名、UPS 名称、グループ名と同一の文字列も使用しないでください。 い。

UPS 台数は1台を選択してください。

マルチサーバ構成で使用するUPS の台数に応じた(1台の場合は、	Sの台数を設定して 、グループ1、2台	「下さい。また、 使用す の場合は、 グループ 1	tるUPS と2の)	
クルーノ名の設定を行うく下さい	•			
UPS台数——— 0 1台				
C 2台				
<i>8</i>			]	
- グルーノ名 - グループ 1				
サーバ電源管理			-	
グループ 2				

🗵 3.3-8

(7-2) UPS 名とその UPS に挿している SNMP カードに設定した IP アドレスを入力します。UPS 名は「半角英数字」のみ使用してください。

マルチサーバ設定 UPS設定 1	×
マルチサーバに電源を供給する1台目のUPS名と IPアドレスを設定し て下さい。	
UPS名 (最大で8文字までが有効です) SUPS_001	
IPアドレス 172 . 16 . 1 . 169	
	1
< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	

図 3.3-9

(7-3) UPS に接続しているサーバのサーバ名と、IP アドレスを入力します。
 「制御」のチェックは必ず有効にしてください。Linux のチェックは無効にしておいてください。

マルチサーバ設定 サーバ設定 1				$\sim$
マルチサーバ環境を構成する い。なおサーバ名は15文字ま	1台目のUPSに接続する で有効です。	サーバ名、IPアト	シスを台数分、入力して下さ	
注意:UPSの台数に関係な Windowsサーバの場合 入力して下さい。	(合計 8 台分のサーバを登録 は大文字、Linuxサーバの時(	できます。 は大文字、小文	字を区別して	
サーバ1: サーバ名	R110i3	▼ 制御	🔲 Linux	
ΙΡアドレフ	172 . 16 . 1 . 19	в		
サーバ2: サーバ名		□ □ 制御 —	Linux	
IP/FV/	· · · ·			
サーバ3: サーバ名 IPアドレフ		● 制御 —	Linux	
	· · · ·	_	E linux	
9-7.4・9-7.4 IPアドレフ		_		
サーバ 5 : サーバ名	,	-	🔲 Linux	
IPアドレフ		_		
サーバ6: サーバ名		_	🔲 Linux	
IPアドレフ				
サーバ7: サーバネ	i		🔲 Linux	
ואדאר				
サーバ8: サーバキ	3		🔲 Linux	
IPアドレ	<u> </u>			
	-	< 戻る( <u>B</u> )	次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	

図 3.3-10

(7-4)入力した情報の設定確認画面が表示されます。間違いがない場合は「完了」を押してください。

マルチサーバ設定 設定確認		×
グループ名1: サーバ雷源管理		
+−/(1 : R110i3	172.16.1.198	
サーバ2:		
サーバ3:		
サーバ4 :		
サーバ5:		
サーバ6:		
サーバ7:		
サーバ 8 :		
UPS SUPS_001	172.16.1.169	
グループ名 2 :		
サーバ1:		
サーバ2:		
サーバ3:		
サーバ4:		
サーバ5:		
サーバ 6 :		
<i>サ−</i> /(7 :		
UPS		
以上のような設定でよろしいですか?		
	< 戻る( <u>B</u> ) 完了	キャンセル

図 3.3-11

(7-5)以下のメッセージが表示されますが、「OK」を押してください。



🗵 3.3-12

(7-6) AC Management Console の起動確認メッセージが表示されますので、「はい」を押してく ださい。



🗵 3.3-13



🗵 3.3-14

[AC Management Console 簡易設定支援]にて、マルチサーバ構成の設定ファイル作成を行った場合は、 設定した情報が反映されているか確認してください。 ※設定変更は後でも可能です。

### <u>注意</u>

 [AC Management Console 簡易設定支援]で設定せずにこの「AC Management Console」を最初 に起動した場合は、何も設定されていません。 [グループポリシーの編集]

画面左のツリーにて「グループポリシー」を選び、「メニューバー:編集」の「登録情報編集」を 実行すると、以下のような「グループポリシー」編集画面が表示されます。 この「グループポリシー」では、この電源制御構成での共通情報を設定します。

AC Manage	ement Console - ESMPI	RO/AC				_		×
ファイル( <u>F</u> ) 編集(	<u>E</u> ) 操作( <u>S</u> ) 表示( <u>V</u> )	∿⊮7° ( <u>H</u> )						
日 🕄 🕮	1	?						
⊡ <mark></mark>		名称	IP address	コンセントク ループ	説明	:	状態	
<u>⊢</u> <mark></mark> サーバ	(電源管理	1 サーバ電源管理	172.16.1.198					
	ナーバ電源管理	SUPS_001	172.16.1.169				正常ON	
E⊷ <mark>843</mark> ਵ	8.煤装置 3.(細細士	R11012A	172.16.1.198					
	可御端木 R11012Δ							
								1
	クルーフボリシー						×	
	一の奈海系はの井	<b>、みんたて田小士士ロート 25. 0日 (三</b>				0	K	
	この電源系統の共	通官理情報を登録・編	ほしまり			キャン	セル	
	名称 サーバ	電源管理						
	,							
								>
レディ	通信用認識コー	F ESMACnet	_		public			
	(15文字主行	・ 」 「のユニークなコード)		3NMF 444-)146	public			
				SNMP通信異常確認時	間 50	Sec		
	通信用 IP addre:	ss 255.255.255.255		停雷中のSNMP通信異	、 常で			
	通信用 IP addre	ss		接続されたサーバの制 0:そのまま運用	ثَلَّةُ   0			
	通信用 IP addres	ss		1 : shutdown				
	制御業に属	ĸ		- 制御端末の停雷:	ノャットダウ	ン時に		
	「ローカルブ	、 ロードキャストアドレス )IP address I(制御が)	」か、 1台の場合のみ)	□ 運動端末をジャッ	トダウンする	5		
	を登録してくた	(J.)						
	統計情報採取問	間隔 1 Min						
								1

図 3.3-15

#### 名称:

電源制御グループ作成時に登録したグループ名が表示されます。電源制御グループ名を変更する場合は、 ここで編集することができます。

※「電源装置」、「連動装置」、「制御端末」、「連動端末」は予約された文字列です。 グループ名を登録する際には、これらの予約された文字列と完全一致する文字列を指定 しないでください。 また、登録済のサーバ名、UPS 名称、グループ名と同一の文字列も使用しないでください。 。

#### 説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。

(特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください。)

通信用認識コード:

この電源制御グループの識別に用いるコードです。ユニークなコードを登録してください。

コードは半角英数字で15文字までの長さを使用可能です。(2バイト文字は使用しないでください。)

通信用 IP address:

この電源制御グループ内のすべてのサーバが、制御端末に対して行う通信で使用する送信先アドレスです。 このアドレスは、制御端末が連動後に、連動端末へ送信します。連動端末側は、このアドレスを受け取る と、そのアドレスを使用した各種通信を開始します。

#### <制御端末が一台だけの場合>

このアドレスには、制御端末のIPaddressを登録してください。

<制御端末が複数台の場合>

このアドレスには、制御端末に届くローカルブロードキャストアドレスを登録してください。

<複数台制御端末と連動端末がネットワークセグメントを超える場合> 制御端末の台数分、通言用Paddressに制御端末のPaddressを登録してください。制御端末のPaddress は、3つまで登録することができます。

※ESMPRO/AC Liteによる電源管理を行う場合、このアドレスには、制御端末のIP addressを登録してください。

### SNMPコミュニティ名:

SNMPカードの設定の際に登録したコミュニティ名を登録してください。

SNMP通信異常確認時間:

SNMPカードとの状態監視を行う際に必要なパラメータです。指定時間(秒)の間、 通信できないと、通信エラーを認識し、AMCでは「不明」状態と認識します。

停電中のSNMP通信異常で接続されたサーバの制御:

UPSで停電を認識した後にSNMPカードとの通信エラーを検出した場合の動作を指定できます。1を指定 すると通信エラー認識後、各連動端末に対してシャットダウン要求をだして停止処理を試みます。ただし、 連動端末へのネットワーク異常が発生している場合にはシャットダウンは行えません。

制御端末の停電シャットダウン時に運動端末をシャットダウンする

停電により制御端末をシャットダウンするとき、他のUPSに接続された連動端末も同時にシャットダウン する場合、チェックを有効にします。

※ESMPRO/AC Liteによる電源管理を行う場合、このチェックは無効のままにしておいてください。

統計靜與和間隔:

統計情報を採取する間隔(時間)を設定できます。1分に設定した場合、1分間隔で統計情報を採取します。

#### [制御端末(サーバ)情報の編集]

画面左のツリーにて制御端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー:編集」の「登録情報編集」を 実行すると、以下のような「制御端末(サーバ)」編集画面が表示されます。 この「制御端末(サーバ)」では、制御用のサーバ情報を編集します。



図 3.3-16

サーバ報到:

20.0-10

対象サーバのサーバ種別を選択してください。 Windowsサーバ: Windowsサーバの場合 Linuxサーバ: Linuxサーバの場合 Windowsサーバ(ESXiサーバ上の仮想マシン): ESXiサーバ上に構築したWindowsサーバの仮想マシンの 場合 Windowsサーバ(Hyper-V): Hyper-Vを持つWindowsサーバの場合

※ESMPRO/AC Liteによる電源管理を行う場合、「Windowsサーバ」または「Windowsサーバ(Hyper-V)」を選択してください。

名称:

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

コンピュータ名を大文字に自動変換する。:

コンピュータ名が大文字/小文字で識別されているサーバの場合、チェックを外してください。通常、 Windowsは、すべて大文字で識別されています。 ※ESMPRO/AC Liteによる電源管理を行う場合、このチェックは有効のままにしておいてください。 仮想マシンの順序制御を行う。:

サーバ報告が「Windowsサーバ(Hyper-V)」で仮想マシンのシャットダウン制御を実施したい場合、チェックを入れてください。チェック後は「仮想マシン順序設定」ボタンを選択して、仮想マシンのシャットダウン順序を設定してください。

仮想マシンを自動起動する。:

サーバ報告が「Windowsサーバ(Hyper-V)」でサーバ連動時に仮想マシンを自動起動したい場合、チェック を入れてください。ESMPRO/ACからシャットダウン制御された仮想マシンが、サーバ連動時に自動で起 動します。「仮想マシンの順等制御を行う。」にチェックが入っていない場合はチェックボックスが有効 になりません。

仮想マシン順字設定:

仮想マシンの順等制御に必要な項目を設定する画面が起動します。「仮想マシンの順等制御を行う。」に チェックが入っていない場合はボタンが有効になりません。

IP address :

サーバのIPアドレスを登録してください。サーバに複数のIPアドレスが設定してある場合には、UPS装置と共有しているLANのIPアドレスを登録してください。

説明:

AMC画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。 (特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください。)

ブラウザ設定(「Linuxサーバ」選択時に有効):

対象のLinuxサーバ上でApacheサービスが稼動している場合、アクセスするためのURL情報を設定してお くことで対象のLinuxサーバへWebアクセスすることができます。

ESXiサーバ(「WindowsサーバESXiサーバ上の仮想マシン)」選択時に有効: ESXiサーバ上に構築した仮想マシンのWindowsサーバを選択しているときに有効になります。

名称(「Windowsサーハ(ESXiサーハ上の仮想マシン)」選択時に有効): ESXiサーハの名称を正確に登録してください。 (大文字/小文字も区別して入力してください。)

ドメイン(「WindowsサーバESXiサーバ上の仮想マシン)」選択時に有効) : ドメイン名つきの情報(例:esx-sv.localdomain)となっている場合、対象サーバのドメイン名の情報 (例:localdomain)を登録してください。 登録の際は、大文字、小文字を区別して正確に入力してください。 (ドメイン名が設定されていない場合、入力不要です。)

IP address (「Windowsサーハ(ESXiサーハ上の仮想マシン)」選択時に有効) : ESXiサーハのIPアドレスを登録してください。

ユーザ名/パスワード(「WindowsサーバESXiサーバ上の仮想マシン)」選択時に有効) : ESXiサーバン接続するためのユーザ名、パスワードを入力してください。 登録するユーザ名は、rootアカウントまたはrootアカウントと同等の権限を持つユーザーアカウントを設定 してください。 サーバへの接続語②(WindowsサーバESXiサーバ上の仮想マシン)」選択時に有効):

サーバ報助が<u>WindowsサーバESXiサーバ上の仮想マシン)」</u>の場合、ユーザ名、パスワードに設定した 情報で対象サーバとのアクセス確認が可能です。運用前に本機能を利用して接続確認を行われることを推 奨します。

Advance option mode :

制御端末をリモート起動する場合は、Advance option modeのチェックを有効にし、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。

※ESMPRO/AC Liteによる電源管理を行う場合、このチェックは無効のままにしておいてください。

■ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ設定に関するサブ メニュー(指定サーバの設定、制御端末からの構成情報取得、指定サーバへ構成情報送信など)が 表示されます。

注意:「仮想マシンの順序制御を行う。」を有効にする場合は、以下の資料をご参照ください。

https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/

→ ダウンロード
 → 各種資料
 → 仮想マシン順序設定マニュアル

### [電源装置(UPS)の編集]

画面左のツリーにて電源装置下にある「UPS」を選び「メニューバー:編集」の「登録情報編集」を 実行すると、以下のような「電源装置」編集画面が表示されます。

この「電源装置」では、UPS 情報を編集します。



🗵 3.3-17

最初に IP address(①)が、先にセットアップしておいた SNMP カードに設定した IP アドレスに なっているか確認して、「SNMP 設定情報の採取」(②)を実行してください。設定が正常であれば、 「SNMP 設定情報」が取得され、「UPS 型名」「シリアル番号」等とともに設定情報が表示(③) されます。

(ここで、「UPS 型名」などが空欄になってしまう場合には、SNMP カードの設定を確認してください。)

SNMP で取得された情報を確認し、「名称」「電源切断猶予時間」などを編集(④)した後、「情報の上書きを SNMP で実行」(⑤)を実行してください。(この操作により、UPS に情報が書き込まれます。)

(注意:設定後すぐに「SNMP 設定情報の採取」を実行すると、古いデータが表示される場合があ ります。これは、SNMP での設定要求が UPS 内部に反映されるまで、若干のタイムラグがあるた めですので、数秒後に再度「SNMP 設定情報の採取」を実行してください。また、許容電圧などで は、設定したデータがその UPS の仕様上不適当な場合、UPS 側にて設定情報を自動的に補正する こともあります。)

電源異常確認時間など変更があれば変更(⑥)し、OK(⑦)を実行してください。

※注意

「SNMP 設定情報の採取」(②)と「情報の上書きを SNMP で実行」(⑤)のボタンが グレーアウトしている場合、OS のネットワークプロトコルに「SNMP サービス」を インストールしてください。

カテゴ	項目	説明
IJ		
操作	SNMP 設定情報の	SNMP 設定情報を採取します。採取される情報は、「SNMP 設定情
	採取	報」内の情報です。
	情報の上書きを	情報を変更した場合に、SNMP 設定情報を上書きします。
	SNMP で実行	SNMP に設定要求を送り出す間隔については、「表示」メニューより
		「オプション」画面で指定されている「SNMP 書き込み要求送信間
		隔」が適用されます。
		例)SNMP 書き込み要求送信間隔が1秒のとき
		SNMP に対し、コマンドごとの送信間隔を1秒に設定します。
電 源 装	IP address	UPS 装置に実装した SNMP カードに割り振った IP アドレスを入力
置		してください。
管 理 情		(IP アドレスの情報を変更した場合は、「SNMP 設定情報の採取」ボ
報		タンを押して情報の再取得を行ってください。)
	SNMP コミュニ	SNMP カードの設定の際に登録したコミュニティ名を表示します。
	ティ名	
	電源異常確認時間	電源異常が発生してから電源異常と断定するまでの時間です。
		設定した時間(Sec)内に電源異常が回復した場合、電源異常の処理
		は行われません。
	電源異常回復時に	電源異常回復時にリブートしない場合は、「電源異常回復時にリブー
	リブートしない	トしない」を、リブートする場合は、「電源異常回復時にリブートす
	電源異常回復時に	る」を選択してください。
	リブートする	電源異常回復時にリブートする場合は、以下の2パターンから選択で
	(UPS によるリ	きます。
	ブート)	<u>UPS によるリブート:</u>
	電源異常回復時に	電源異常回復時に自動的にリブートします。(制御端末/連動端末は
	リブートする(制	こちらを選択してください。)
	御端末からリブー	※ESMPRO/AC Lite による電源管理を行い、電源異常回復時にリ
	トする)	ブートする場合は、「UPS によるリブート」を選択してください。
		<u>制御端末からリブートする:</u>
		電源異常回復時にまず制御端末が起動してから、制御端末からの復電
		指示により自動的に起動します。(連動装置はこちらを選択してくだ

		さい。)			
		※1 CLUSTERPRO X によるクラスタシステム上のサーバを制御端			
		末にしている場合、連動装置の設定は、必ずこちらを選択してく			
		ださい。			
		※2 iStorage 装置と iStorage 連携を行っている場合、連動装置の設			
		定は、必ずこちらを選択してください。			
	Warm-UP 順位	連動装置として電源装置画面を表示した場合に有効なパラメータで			
		す。			
		連動装置が複数台ある場合に、電源異常回復時に順番に起動させるた			
	めの設定で、順位の数字が低い順に起動されます。				
	Warm-UP 時間	共有 Disk 等での起動待ち合わせ(Warm-Up)時間です。			
		スケジュール運転を行った場合、設定した時間分、共有 Disk がサー			
	ハより早く起動されます。このハラメータは UPS 装直のタイマ機能				
		を利用しているため360秒単位で指定する必要かあります。(360,720			
	ハッテリ温度監視	ここで設定した温度(上限、下限)を一定時间以上越えた場合に、温 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
SNIMD	夕玫	皮共吊としし1ハノト豆球されまり。 LIDS の夕秋を発行してノゼキロ、夕秋は、半色茶粉ウヤトび半色の			
設定情	白砂	OFSの石杯を豆球してくたさい。石杯は、十丹央数子のよび十丹の アンダースコマ(:)のみを使用した必ず一音な冬称にしてください			
報		ノンメースコノ(_)00%を使用した必タ 急な石がにしてくたてい。 (個・ "SMIIPS123" わ "SLIPS 123" たど)			
ти		(例: SMOFS125 (* SOFS_125 など) ※注音			
		<u>^^/_@</u>   文字列由にアンダースコア(: `\以外の半角文字(半角スペース/ - ( /\			
		ステァリーに / ノァーヘコ / ( _ )以クトの十円入子(干円へへース/・(ハ   イフヽ)) かどが λ っていス提合 IIDC 生置へのパラメータ 設守が正			
		しくできない場合がありますので、使用しないでください。			
		N8180-60 の SNMP カードで FW rev 6.0.6 未満をご使用の場合、			
		UPSの名称は8文字固定としてください。8文字未満でUPSの名称			
		を設定した場合、サーバと UPS 間の通信負荷等の状況によっては予			
		期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま			
		期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。			
	電源切断猶予時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがあります。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切			
	電源切断猶予時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十			
	電源切断猶予時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。			
	電源切断猶予時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら			
	電源切断猶予時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が			
	電源切断猶予時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。)			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。)			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限)	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限)	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値: 108V (100V 環境の場合)			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限)	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値: 108V (100V環境の場合)			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限) 許容電圧(下限)	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値:108V(100V環境の場合)			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限) 許容電圧(下限)	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値:108V(100V環境の場合)			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限) 許容電圧(下限)	<ul> <li>期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがあります。</li> <li>電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十分な時間を設定ください。</li> <li>(「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちらの値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要があります。)</li> <li>ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生してもUPSから電源供給はしません。0秒よりも大きい値に設定してください。</li> <li>(「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちらの値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要があります。)</li> <li>UPSへの入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行います。</li> <li>推奨値:108V(100V環境の場合)</li> <li>UPSへの入力電圧がこの値以下になった場合、UPS で電圧調整を行います。</li> <li>推奨値:92V(100V環境の場合)</li> <li>電源の異常を検出する機能の感度を指定します。</li> </ul>			
	電源切断猶予時間 Disk 保護時間 許容電圧(上限) 許容電圧(下限)	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値: 108V (100V 環境の場合) UPS への入力電圧がこの値以下になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値: 92V (100V 環境の場合)			
	<ul> <li>電源切断猶予時間</li> <li>Disk 保護時間</li> <li>許容電圧(上限)</li> <li>許容電圧(下限)</li> <li>電源異常検出感度</li> <li>異常発生時のブ</li> </ul>	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値:108V(100V環境の場合) UPS への入力電圧がこの値以下になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値:92V(100V環境の場合) 電源の異常を検出する機能の感度を指定します。 推奨値:高 電源異常が発生した場合のブザーを鳴らすための定義を指定します。			
	<ul> <li>電源切断猶予時間</li> <li>Disk 保護時間</li> <li>許容電圧(上限)</li> <li>許容電圧(下限)</li> <li>電源異常検出感度</li> <li>異常発生時のブ ザータイミング</li> </ul>	<ul> <li>期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがあります。</li> <li>電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十分な時間を設定ください。</li> <li>(「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちらの値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要があります。)</li> <li>ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定してください。</li> <li>(「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちらの値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要があります。)</li> <li>UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行います。</li> <li>推奨値:108V(100V環境の場合)</li> <li>UPS への入力電圧がこの値以下になった場合、UPS で電圧調整を行います。</li> <li>推奨値:92V(100V環境の場合)</li> <li>電源の異常を検出する機能の感度を指定します。</li> <li>推奨値:高</li> <li>電源異常が発生した場合のブザーを鳴らすための定義を指定します。</li> </ul>			
	電源切断猶予時間         Disk 保護時間         Disk 保護時間         許容電圧(上限)         許容電圧(下限)         電源異常検出感度         異常発生時のブ ザータイミング         異常検出時のブ	期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがありま す。 電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切 断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十 分な時間を設定ください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生 しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定し てください。 (「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちら の値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要が あります。) UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値:108V(100V環境の場合) UPS への入力電圧がこの値以下になった場合、UPS で電圧調整を行 います。 推奨値:92V(100V環境の場合) 電源の異常を検出する機能の感度を指定します。 推奨値:高 電源異常が発生した場合のブザーを鳴らすための定義を指定します。			
	電源切断猶予時間         Disk 保護時間         Disk 保護時間         許容電圧(上限)         許容電圧(下限)         電源異常検出感度         異常発生時のブ ザータイミング         異常検出時のブ ザータイマ	<ul> <li>期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがあります。</li> <li>電源切断条件成立によるシャットダウン起動から、UPS が電源を切断するまでの時間を設定します。サーバがシャットダウンするのに十分な時間を設定ください。</li> <li>(「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちらの値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要があります。)</li> <li>ディスク保護時間を設定します。この設定時間内は、投入要因が発生しても UPS から電源供給はしません。0 秒よりも大きい値に設定してください。</li> <li>(「コンセントグループ単位の制御を行う」を選択した場合、こちらの値は使用しません。「コンセントグループの設定」にて行う必要があります。)</li> <li>UPS への入力電圧がこの値以上になった場合、UPS で電圧調整を行います。</li> <li>推奨値:108V(100V環境の場合)</li> <li>UPS への入力電圧がこの値以下になった場合、UPS で電圧調整を行います。</li> <li>推奨値:92V(100V環境の場合)</li> <li>電源の異常を検出する機能の感度を指定します。</li> <li>推奨値:高</li> <li>電源異常が発生した場合のブザーを鳴らすための定義を指定します。</li> <li>電源障害がこの時間継続した場合、ブザーを鳴動します。</li> <li>(注意)</li> </ul>			

		あります。		
		UPS 装置によっては指定できない場合があります。		
	LowBattery 検出後	バッテリ運転中となった UPS が、UPS を接続しているサーバなどに		
	の動作可能時間	電力供給を行うことができる「残り時間」を設定するパラメータです。		
		UPS は、「LowBattery」状態になったあと、「残り時間」が経過する		
		と停止します。		
		なお、本項目は、LCD パネルなし Smart-UPS のみで設定する項目と		
		なります。		
	自動バッテリテス	自動でバッテリテストをする場合のパターンを指定します。		
「「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「		推奨値:隔週		
	·	(注意)		
		使用する UPS 装置によっては、設定できないパラメータがあります。		
	UPS 型名、シリア	UPS の型名、シリアル番号、FW レビジョンを表示します。		
	ル番号、FW.Rev			
	復電 reboot 時の最	停電が復旧した場合、バッテリ充電率がこの値まで回復したら、電源		
	低充電率	供給を再開します。		
		(注意)		
		使用する UPS 装置によっては設定できません(0%の表示になりま		
		す)。		
	最小復帰ランタイ	停電が復旧した場合、バッテリのランタイム時間がこの値にまで回復		
	Д	したら、電源供給を再開します。		
		(注意)		
		使用する UPS 装置によっては、設定できません (OSec の表示になり		
		ます)。		
コント	LCD パネル付き Sn	パネル付き Smart-UPS 装置では、コントロールコンセントグループの設定、制御機		
ロール	能を備えているもの	があります。		
コンセ	コントロールコンセ	ントグループの機能を利用できる場合、「コントロールコンセントグ		
ントグ	ループの制御」の設	定欄が有効になります。		
ループ	<b>※ESMPRO/AC</b> Lite	による電源管理を行う場合、「コンセントグループ単位の制御を行わ		
の制御	ない」を選択して	ください。		
	コンセントグルー	コンセントグループ単位の制御を行わず、全コンセントグループの一		
	プ単位の制御を行	斉 ON/OFF 動作となる制御が行われます。UPS からの電源供給停		
	わない	止/開始のタイミングについては、電源装置画面の「SNMP 設定情報」		
		に含まれる各パラメータ設定に従います。		
	コンセントグルー	UPS 装置が持つコンセントグループ制御機能を利用して、コンセン		
	プ単位の制御を行	トグループ単位の ON/OFF 制御を行います。本機能を利用する場合		
	う	は、「コンセントグループの設定」ボタンを押して表示されるコント		
		ロールコンセントグループ設定画面にて、コンセントグループ単位の		
		設定を行う必要があります。		
その他	UPS レポート	UPS 構成レポートを表示します。		
	バッテリ交換日	UPSの最終バッテリ交換日を表示します。		
	冗長構成設定	UPS を冗長構成で運用する場合に設定します。		
		※ESMPRO/AC Lite による電源管理を行う場合、使用しません。		
	iStorage 連携	iStorage 連携機能を使用する場合に設定します。		
		※ESMPRO/AC Lite による電源管理を行う場合、使用しません。		

## 表 3-1

[AC Management Console]にて設定完了後は、メニューより「ファイル(F)->構成情報保存(S)」 を行い、設定ファイルを保存します。

設定完了後、OS のサービス画面から[ESMPRO/ARC Service]サービスを再起動します。

[ESMPRO/ARC Service]サービスを再起動後、[AC Management Console] にて、設定を行ったサー バ、UPS などの状態が正常に認識されていることを確認します。

# <u>注意</u>

- ・ CD-ROM ドライブをご利用できない場合は、『ESMPRO/AC Lite Ver5.5』と記載されている CD-ROM から iso イメージファイルを作成しマウントしてインストールを行ってください。
- (1)インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータ にログオンし、ラベルに『ESMPRO/AC Lite Ver5.5』と記載されているCD-ROMをCD-ROMド ライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セットアップ						
-動作を選択 ・ インストール	C 72-	シストール				
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール						
サーハ米製品辞   クライアント系製品   製品名	バージョン	インストール済				
■IESMPRO/Automatic RunningController ■ ESMPRO/AC Enterprise ■ ESMPRO/AC Advance ■ ESMPRO/AC MSCSオプション ■ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプシ ■ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプシ	5.5 5.5 5.5 ンコン 5.5 コン 5.5	<mark>○(5.5)</mark> ○(5.5) × × × ×				
実行		終了				

図 3.4-1

- (3)「ESMPRO/AutomaticRunningController」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライア ント系製品」があります。
  - ◆ サーバ系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択します。サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。 (同時にESMPRO/AC Enterpriseのチェックも有効になります。)

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製	品セットアップ	×				
動作を選択 ○ インストール	© 724	シストール				
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール						
製品名	バージョン	インストール済				
■ ESMPRO/AutomaticRunningController ■ ESMPRO/AC Enterprise ■ ESMPRO/AC Advance ■ ESMPRO/AC MSCSオプション ■ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプ ■ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプシ	5.5 5.5 5.5 ション 5.5 /ヨン 5.5	○(5.5) ○(5.5) × × × ×				
美行	1	終了				

図 3.4-2
◆ クライアント系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「アン インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterprise を選択し、チェックを有効にします。

	品セットアップ	×
ー動作を選択 ○ インストール	@ 774	シストール
インストール/アンインストールを実施する製品を なお、インストール済に表示されている情報は以下のと 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(イン: ×…未インストール	蟹択し、チェックをつけてください ∷おりです。 ストールされているバージョンを伊	1。 f記)
サーバ系製品群 クライアント系製品 製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	(5.5)
実行	á	终了

図 3.4-3

- (4)「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.4-4

(6)サーバ系製品の場合、ESMPRO/AC Enterpriseのインストーラが起動され、もう一度確認メッ セージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.4-5

- (7)ファイルの削除が行われます。
- (8)次の画面が表示されたら、ESMPRO/AC Enterpriseのアンインストール完了です。「完了」ボタンを選択します。



図 3.4-6

(9)続いてESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストーラが起動され、確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.4-7

- (10)ファイルの削除が行われます。
- (11)次の画面が表示されたら、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのアンインストール完了で す。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningControl	ler ช่งหัวงว่
	InstallShield Wizard の完了 セットアップでは、コンビュータからのESMPRO/AutomaticRunningControllerの アンインストールを完了しました。コンビュータを再起動してください。
	< 戻る( <u>B</u> ) <b>完了</b> キャンセル

図 3.4-8

- (12) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningControllerおよびESMPRO/AC Enterpriseの インストール済欄に×が表示されていることを確認します。
  - <サーバ系製品アンインストール後の画面>

🛷 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セッ	<b>ルアップ</b>		Х
●動作を選択 ○ インストール	-27 •	インストール	
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで 〇…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストール	、チェックをつけてくだき す。 されているバージョンを	し、 い。 ) ) 并記)	
×…未かストール サーバ系製品群 タライアント系製品 製品名	バージョン	インストール済	
ESMPRO/AutomaticRunningController   ESMPRO/AC Enterprise   ESMPRO/AC Advance   ESMPRO/AC MSCSオプション   ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション   ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	× × × × ×	
実行		終了	

図 3.4-9

## <クライアント系製品アンインストール後の画面>

紛 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	車製品セットアップ	×
「動作を選択 ○ インストール	@ <u>724</u>	シストール
インストール/アンインストールを実施する製品 なお、インストール済に表示されている情報は以下の 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済( ×…未行)ストール	を選択し、チェックをつけてください のとおりです。 们ストールされているバージョンを伊	.\₀ f記)
サーバ系製品群 クライアント系製品 製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	X
実行		终了

🗵 3.4-10

(13) アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

# 第4章 スケジュール運転の設定

## 4.1 制御端末のスケジュール設定

制御端末のスケジュール登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定を 行う必要があります。

以下を例に、スケジュール運転の設定方法を説明します。 ①月曜日から金曜日までは、8時00分 に電源投入。17時00分 に電源切断。 ②土日祝は、運用しない。

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動

[スタート]メニュー →[プログラム] → [ESMPRO\_AutomaticRunningController] → [ESMPRO\_AC] を起動してください。

起動すると以下のような画面が表示されますので「スケジュール」ボタンを選択してください。



図 4.1-1

(2) 「スケジュール」画面が表示されますので、画面内の "通常 09時00分から17時00分まで"(赤枠)を選択し「修正」ボタンを選択してください。

スケジ ュール					×
スケジ ユール表示	カレンダ表示				
スケジュール有効	」期間: 2019年04	4月から2029	9年03月まで	変更( <u>C</u> )	
運用スケジュール				ク <sup>゙</sup> ラフィック( <u>G</u> )	
通常	09時00分から17時00;	分まで ;			設定( <u>S</u> )
					修正( <u>R</u> )
					<u>削除(D)</u>
1	OFF->ONが1分差のフ	マクジュール(	よ、リブートと認識しま	ます。	
(	ЭК	+t>	セル	^⊮7° ( <u>H</u> )	
	"月曜日か	ら金曜日ま	きでは、8時00分	に電源投入。17日	時00分に電源
	の設定を投入時間	行います。 を9時00	)分→8時00分	·に変更し、「Ok	(」ボタンを選択
Ļ	ι <b>ν</b> 。				
E		×			
時間	□ 運転休止				
投入時間 2常項目	: 09時 00分		投入時間:	09 時	00 分
切断時間	: 17 時 00 分				
:				ŧ	
OK ++>>b)	↓ ^٦₽ <sup>°</sup> ( <u>H</u> )		投入時間:	08 時	00 分



- (3) 「スケジュール」 画面に戻りますので、(2) で変更した時間が反映されているか確認を行い ます。問題なければ、「設定」ボタンを選択して、"②土日祝は、運用しない。"の設定を行いま す。
  - ①「設定」画面が表示されましたら「祭日休日指定」タブを選択します。赤枠内すべてのチェック を有効にします。
  - ②次に「曜日指定」タブを選択します。

同じく赤枠内のように、「複数曜日」と「日」、「土」、「運転休止」のチェックを有効にして 「OK」ボタンを選択してください。

- ③「スケジュール」画面に戻りますので、「OK」ボタンを選択してください。
- ④青枠のようなメッセージが出力されますので、すべて「はい」または「OK」ボタンを選択して ください。



- (4) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。
  - ①以下のような画面が表示されましたら、「投入要因」タブと「切断要因」タブ内にある、"基本 部"欄の「スケジュール」のチェックを有効にしてください。
     その後「OK」ボタンを選択してください。
  - ②メッセージが出力されますので、「OK」ボタンを選択してください。

ESMPRO/Automatic	lunningController		_	×	
設定( <u>C)</u> ヘルプ( <u>H</u> )	_				
₱~'n° ( <u>S</u> )			→UPS		
サー 1) * 名 自動 5 * 5 * 5 * 5 * 5 * 5 * 5 * 5 * 5 * 5 *	: R110I2A : 実行中 : S-UPS : 正常運転(Versin : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	on EE			
「監視要因」	279° a~ll 2000	אין יליינען (D)		<b>*</b> )) 2	
		7FX 97( <u>D</u> )	<u>(n</u> )		
		5-	<b>8</b> 田 田		
		^ <u></u>		1	
12八安四 11町安四					
- 基本部	I AN投入情報(I )		● 本部 ▼ スケジュール		LAN切断情報(L)
			_ 70 wb 1		
			未実装		未実装
木美资	木美筱				 _ スロット 6
- スロット 2			未実装		未実装
未実装	木夫资		- スロット 3		
- スロット 3			未実装		未実装
未実装	未実装		_ スロット 4		- スロット 8
- スロット4			未実装		未実装
未実装	未実装				
			● OR条件 ○ 条件	:式	
ОК	キャンセル ヘルフ <sup>*</sup> ( <u>H</u> )		ОК	÷*)	ペルフ ( <u>H</u> )
2					
ESMPRO/Automatic Runni	ingController		$\overline{\mathbf{x}}$		
com no paronalicitam	ngeonnonen				
投入要因 スケジュール による 切断要因 スケジュール による を行います。	サーバの自動起動を行います。 切断条件が成立した場合、サーバはii	直ちにシャットダウン			
		OK			

×



## (5) 以下のような画面に戻りましたら、「OK」ボタンを選択してください。

ESMPRO/AutomaticRunningController	—		×
設定(C) ヘルブ( <u>H</u> )			
₱~n*(S)		→UPS	
サーN <sup>*</sup> 名 自動運転の状態 に に ままでは ままでは ままでは またでは またでは に に に 常運転(Version 5.33_E) た で に 常運転(Version 5.33_E) た で で し い の の い た に 常運転(Version 5.33_E) た で 、 の い の の の い た の の の の た の の の の の の た の の の の の の の の の の の の の			
ごの         ご			<b>5:</b> )) 2
OK キャンセル シャットダックン(D)	^	∿7°( <u>H</u> )	

図 4.1-5

※参考

以下のような画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。 「OK」ボタンを押しますと、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI が終了します。



## 図 4.1-6

最後の確認メッセージで「キャンセル」を選択すると、スケジュール運転設定完了後の情報確認が できます。

ESMPRO/AutomaticRunningController	_		Х
設定(C) ヘル7 (H)			
$\mathfrak{P}$ - $\mathfrak{h}^{*}(\underline{S})$		→UPS	
サール、名       : R11012A         自動運転の状態       : 実行中         自動運転装置       : S-UPS         サービ、スの状態       : 正常運転(Version 5.33_E)         投入監視要因       : スケシ、コール         切断監視要因       : スケシ、コール         切断監視時刻       : 2019/04/05 08:00         切断監視時刻       : 2019/04/05 17:00         没入時必当ず。起動       : OFF         終了時シ、当7、起動       : OFF			
ごの         ご			<b>≈</b> )) 2
OK <u>キャンセル</u> シャットタッウン( <u>D</u> )		\ル7°( <u>H</u> )	

図 4.1-7

4.1.1 スケジュールシャットダウン時の動作について

#### ・ 制御端末の処理概要

(制御端末1台とUPS1台の構成の場合)



図 4.1-8

# 第5章 ジョブの登録方法

ジョブの登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定を行う必要があります。

<u>注意</u>

・登録されたジョブは、ESMPRO/ARC Service サービス(SYSTEM ユーザ)により実行され ます。

・コマンドプロンプト上で実行した際に Yes / No などの入力を促されるコマンドをジョブと して登録した場合、ジョブが入力待ちの状態となり、正しく実行されないことがあります。あ らかじめ入力内容を記載したファイルから読み込ませるなどして、入力待ちの状態にならない ように工夫願います。

・ジョブ実行に関するお問い合わせの際、ジョブの内容に関してのお問い合わせにはお答えで きませんのでご了承願います。

ジョブの登録には、以下の3つがあります。 ①電源投入時のジョブ登録 ②電源切断時のジョブ登録 ③電源異常切断時のジョブ登録

なお、ここではジョブの登録方法について説明します。

## 5.1 制御端末のジョブの設定

制御端末のジョブの登録方法について記載します。

- 5.1.1 ジョブ登録画面の起動方法
  - (1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI の起動

[スタート]メニュー →[すべてのプログラム] → [ESMPRO\_AutomaticRunningController] → [ESMPRO\_AC] を起動してください。

起動すると以下のような画面が表示されますので「オプション」ボタンを押してください。

ESMPRO/AutomaticRunningController – 🗆 🗙	
設定( <u>C</u> ) ヘルブ( <u>H</u> )	
$\not \neg UPS$	
サーN'名       : R11012A       ^         自動運転の状態       : 実行中         自動運転装置       : S-UPS         サービスの状態       : 正常運転(VersionE)         投入監視要因       : スカジュール         切断監視要因       : スカジュール         切断監視時刻       : 2019/04/05 08:00         切断監視時刻       : 2019/04/05 17:00         投入時ジョフ"起動       : OFF         終了時ジョフ"起動       : OFF	
ごうつう       スケジ・ュール       ア・ション       ア・トゥウェア       配信データ	
OK         キャンセル         シャットタッウン(D)         ヘルフ°(H)	

図 5.1-1

(2) 「オプション」 画面が表示されますので、「ジョブ起動」 タブに切り替えて「ジョブ起動画面」 を表示します。

連携機能1       連携機能2       自動運転情報       省電力       その他         監視パ ラン-3       投入/切断       メッセ-ジ 通知       ジョブ 起動         電源投入時       「設入時に登録ジョブ を起動する(D)       - マニュアル投入時のジョブ 記動         「記動する(B)       C       起動しない(C)         定動ジョブ の登録(D)       三         電源切断時       10       -         タイル701時間(E)       10       -         タイル701時間(L)       1       -         タイル701時間(L)       1       -         人内ブ (H)       1       -							2
<ul> <li>監視バラメータ 投入/切断 メヮセージ 通知 ジョブ 起動</li> <li>電源投入時         <ul> <li>(*) おび きつ を起動する(J)</li> <li>(*) 定動する(B)</li> <li>(*) 定動しない(Q)</li> <li>定動ジョブ の登録(D)</li> </ul> </li> <li>電源知断時         <ul> <li>切断時に登録ジョブ を起動する(S)</li> <li>タイルアウト時間(D)</li> <li>10</li> <li>分</li> <li>定動ジョブ の登録(D)</li> </ul> </li> <li>アイルアウト時間(D)</li> <li>1</li> <li>(*) 分</li> </ul> <li>CK</li> <li>キャンセル</li> <li>ヘルブ (H)</li>	連携機能1	連携機能2	自動運転	情報	省電力	その他	
<ul> <li>電源投入時         <ul> <li>「投入時に登録ジョブを起動する(D)</li> <li>マニュアル投入時のジョブ起動</li></ul></li></ul>	監視パラメータ	投入/切断		⟨ッセージ通知		ジョブ起動	
<ul> <li>              授入時に登録ジョブを起動する())             マニュアル投入時のジョブを起動する(B)             ・ 起動しない(①             起動ジョブの登録(D)      </li> <li>             電源切断時         </li> <li>             切断時に登録ジョブを起動する(S)             タイルアクト時間(E)             10             ・ 分             起動ジョブの登録(D)      </li> <li>             でを起動する(W)             タイルアクト時間(U)             1             ・</li></ul>	┌電源投入時────						-
マニュアル投入時のジョブ起動       (* 起動する(B)       定動ジョブの登録(D)       電源切断時       り断時に登録ジョブを起動する(S)       タイル7クト時間(D)       10       ・       分       足動ジョブの登録(D)	□ 投入時	に登録ジョブを起調	あする(1)				
<ul> <li>② 起動する(B)</li> <li>② 起動する(B)</li> <li>② 起動がョブの登録(D)</li> <li>電源切断時に登録がョブを起動する(S)</li> <li>タイルブクト時間(E)</li> <li>10 → 分</li> <li>2 起動がョブの登録(D)</li> <li>○ 電源異常切断時に登録がョブを起動する(W)</li> <li>タイルブクト時間(U)</li> <li>1 → 分</li> <li>2 起動がョブの登録(E)</li> <li>○ K</li> <li>キャンセル</li> </ul>	-7-27	ゆして 時のジョブ 起	:動				
起動ジョブの登録(D)  電源切断時  「切断時に登録ジョブを起動する(S)  タイムスアウト時間(E) 10 → 分 起動ジョブの登録(D)  「電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W)  タイムスアウト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E)  OK ++ンセル ^レレブ(H)		<ul><li>記載する(B)</li></ul>	C	起動しない((			
起動ジョブの登録(D) 電源切断時 「切断時に登録ジョブを起動する(S) タイルアウト時間(E) 10 ・ 分 起動ジョブの登録(D 「電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W) タイルアウト時間(U) 1 ・ 分 起動ジョブの登録(E) OK ++>セル ヘレブ(H)			~				
電源切断時 「切断時に登録ジョブを起動する(S) タイルブクト時間(E) 10 → 分 起動ジョブの登録(D) 「電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W) タイルブクト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E) OK キャンセル ヘルブ(H)		起動	/ ョブの登録(	D)			
電源切断時     「切断時に登録ジョブを起動する(S)     タイル7ウト時間(E) 10 → 分 起動ジョブの登録(D     電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W)     タイル7ウト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E)     OK ++ンセル ヘル7゙(H)							
「 切断時に登録ジョブを起動する(S)     タイルアウト時間(E) 10 ・ 分 起動ジョブの登録(D      電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W)     タイルアウト時間(U) 1 ・ 分 起動ジョブの登録(E)      OK キャンセル ヘルブ(H)	─電源切断時						1
タイルアクト時間(E)     10     ・     分     起動ジョブの登録(D       ご 電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W)       タイルアクト時間(U)     1     ・     分     起動ジョブの登録(E)       OK     キャンセル     ~レレブ(H)	一下 切断時に登録	ジョブを起動する()	<u>s</u> )				
914/91時間(E)     10     分     注動ジョブの登録(L)       電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W)       タイルブか時間(U)     1     ・       分     起動ジョブの登録(E)	9000000000						
■ 電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W) タイルブクト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E)           OK         キャンセル         ヘルプ (H)	りの間時に豆動		a . E		a 26.63 m		
○ 電源異常切断時に登録ジョブを起動する(W) タイルブクト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E)           OK         キャンセル         ヘルブ (H)	2 90日1日に豆動 9月17月1日間	(F) 10	分	起動ジョブ	の登録(]]	,	
タイん7かト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E) OK ++>セル へルプ(H)	97117711171111111111111111111111111111	(E) 10	分	起動ジョブ	の登録(∐)	,	
ОК ++у/ен Ль7* ( <u>H</u> )	→ 5747761日朝 944791時間	(E) 10 <u>-</u>	」分 	起動ジョブ	の登録(])	,	
OK         キャンセル         ヘルフ <sup>*</sup> ( <u>H</u> )		(E) 10 <u>;</u>	】分 起動する( <u>W</u> )	起動ジョブ 起動ジョフ	の登録(団) の登録(E)		
OK         キャンセル         ヘルフ*( <u>H</u> )		(B) 10 ( fi時に登録ジョブを (U) 1 (	1分 起動する( <u>W</u> )	起動ジョブ 起動ジョブ	の登録(D) の登録(E)	,	
	<ul> <li>シロレデル 互換</li> <li>タイルアクト時間</li> <li>電源異常切磨</li> <li>タイルアクト時間</li> </ul>	(E) 10 <u>,</u>	」分 <b>起動する(₩)</b> ↓分	起動ジョブ 起動ジョブ	の登録( <u>D</u> ),, の登録( <u>E</u> ),,	,	
		(E) 10 <u>-</u> 所時に登録ジョブを (U) 1 <u>-</u>	」分 起動する(W) 」分 キャンセル	起動ジョブ 起動ジョブ	の登録(D の登録(E)		

図 5.1-2

5.1.2 電源投入時のジョブ登録方法

投入条件が成立した後、電源を投入した後に、実行するジョブを登録します。

(1) 画面内の「電源投入時」-「電源投入時に登録ジョブを起動する」をチェックして、「起動ジョ ブの登録(D)」ボタンを押せる状態にします。

νεν				
連携機能1 監視パラメータ	連携機能 2 投入/切断	自動運転情報	そうした。 ジ 通知	くうい その他 ジョブ 起動
-電源投入時	に登録ジョブを起動  投入時のジョブ起 (© 起動する( <u>B</u> )	, 加する()) 動 C 起画	かしない( <u>C</u> )	]
「電源切断時」 「□ 切断時に登録 タイルアクト時間	起動ジ ジョブを起動する() (E) 10	'ョブの登録( <u>D</u> ) ) 分 起	■ 動ジョブの登録(I)	),,,,
□ 電源異常切開 94k7が時間	所時に登録ジョブを (U) 1 -	<b>起動する(<u>W)</u></b> 分 起	動ジョブの登録( <u>E</u>	)
ОК		キャンセル		~⊮7 <sup>°</sup> ( <u>H</u> )

🗵 5.1-3

(2) 画面内の「電源投入時」-「起動ジョブの登録」ボタンを押して、起動時のジョブ登録画面を 表示します。

投入時起動ジョブの登録	×
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	参照( <u>S</u> )
	追加( <u>A</u> )
OK	 <u>^ルプ(H</u> )

図 5.1-4

- ※登録時の注意事項
  - 1. ジョブの起動順は、画面中段にあるリストボックスに登録された順番に起動し、実行され ます。

ただし、実行は並列で実行されます。

<ジョブ登録例> コマンドリスト

C:¥JOB1.EXE 1

C:¥WORK¥JOB2.EXE

D:¥TEMP¥JOB3.EXE /A /B

D:¥USER1¥BACKUP.EXE

上記登録例の場合、JOB1.EXE → JOB2.EXE → JOB3.EXE → BACKUP.EXE の順番に起動され、並列して実行されます。

- 2. 登録するジョブ名およびコマンド名は、ドライブ名を含めたフルパスで指定してください。
- 3. コマンドパラメータが必要な場合は、画面下段にあるテキストボックスで、直接入力して ください。
- 4. 登録できるジョブ数は、最大99個です。
- 5. 登録するジョブが複数ある場合は、(3)から(5)の手順を繰り返し実行してください。

(3) 「参照」ボタンを押して、「ファイルの参照」ダイアログボックスを表示します。 登録するジョブ名の選択を行い、画面下段にあるテキストボックスに表示します。

🧱 ファイルの参照			×	1771ルの参照			X
← → ~ ↑ 🐂 > PC	› ローカル ディスク ( › 🗸 🗸	ローカル ディスク (C:)の検索	Q	← → × ↑ 🟪 > P	C > ローカル ディスク (C:) 🗸 🗸	ひ ローカル ディスク (C:)の検索	P
整理 ▼ 新しいフォルダー		8==	- ()	整理 ▼ 新しいフォルダ・	-	8== -	• ?
🏪 ローカル ディスク (C ^	名前	更新日時	種類 ^	🏪 ローカル ディスク (C ^	名前	更新日時	種類 ^
🗸 🛄 PC	PerfLogs	2019/03/05 16:47	ファイル	PC		2019/03/05 16:47	ファイル
3Dオブジェクト	Program Files	2019/03/20 13:29	ファイル	□ 3D オブジェクト	Program Files	2019/03/20 13:29	ファイル
	Program Files (x86)	2019/04/04 10:44	ファイル	▲ ダウンロード	Program Files (x86)	2019/04/04 10:44	ファイル
>	temp	2019/03/08 13:28	ファイル		temp	2019/03/08 13:28	ファイル
	ver330x64	2019/03/05 15:49	ファイル		ver330x64	2019/03/05 15:49	ファイル
> 🛅 トギュメント	Windows	2019/03/27 12:59	ファイル	1/21+1	Windows	2019/03/27 12:59	ファイル
> 📰 ピクチャ	winnt .	2019/02/04 13:36	ファイル	E 10774	winnt	2019/02/04 13:36	ファイル
> 🧧 ビデオ	ユーザー	2019/02/04 13:29	ファイル	📕 ビデオ	- 7-tf-	2019/02/04 13:29	771
> 🎝 ミュージック	JOB1.EXE	2012/10/18 18:18	アプリケ	🎝 ミュージック	JOB1.EXE	2012/10/18 18:18	アプリア
> 🏪 ローカル ディスク (C	QUICKJOB.EXE	2012/10/18 18:18	アプリケ 🗸	🏪 ローカル ディスク (C	COICKIOR'EXE	2012/10/18 18:18	r797 🗸
¥	<		>	~	<		>
ファイル名( <u>N</u> ): *.exe			~	ファイル名( <u>N</u> ): JOB1	.EXE		_
ファイルの種類(T): ファイル(*	*.exe)		~	ファイルの種類(T): ファイル	(*.exe)		~
ヘ フォルダーの非表示		保存( <u>S</u> ) キャ	ンセル	ヘ フォルダーの非表示		保存( <u>S</u> ) キャ	ンセル
				51-5			

または、画面下段にあるテキストボックスに直接入力をします。

投入時起動ジョブの登録	×
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	<u>参照(S)</u>
C:¥JOB1.EXE	追加( <u>A</u> )
0K 477211 11	7°( <u>H</u> )



(4) 画面下段にあるテキストボックスに表示されたジョブ名にコマンドパラメータの指定が必要 であれば、直接入力してください。

投入時起動ジョブの登録	×
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	() <b>PP</b> (1)
	参照( <u>S</u> )
C:¥JOB1.EXE 1	追加( <u>A</u> )
OK 추구가 (제)	7° ( <u>H</u> )

例) コマンドパラメータとして1を入力した場合

図 5.1-7

(5) 「追加」ボタンを押して、実行するジョブのリストに追加します。

投入時起動ジョブの登録	×	投入時起動ジョブの登録	×
3	変更( <u>C</u> )	C:¥JOB1.EXE 1	変更( <u>C</u> )
	<b>削</b> β余( <u>D</u> )	C:¥JOB1.EXE 1	削除( <u>D</u> )
**************************************	·照 ( <u>S</u> )		参照( <u>S</u> )
C:¥JOB1.EXE 1	追加(A)		追加( <u>A</u> )
0K \$+>>th	<u>t)</u>	0K ++>>tili	7° ( <u>H</u> )



## (6) 登録するジョブの指定が全部終わりましたら、「OK」ボタンを押して登録します。

投入時起動ジョブの登録	×
	変更( <u>C</u> )
C:¥JOB1.EXE 1 C:¥WORK¥JOB2.EXE	削除( <u>D</u> )
D:¥TEMP¥JOB3.EXE /A /B D:¥USER1¥BACKUP.EXE	
	参照( <u>S</u> )
	追加( <u>A</u> )
OK ++>セル ^117	<sup>,°</sup> ( <u>Н</u> )

図 5.1-9

#### 5.1.3 電源切断時のジョブ登録方法

切断条件が成立した後、電源を切断する前に、実行するジョブを登録します。 電源切断時のジョブ登録には、以下の2つがあります。

- 1. 切断時に登録ジョブを起動する場合
- 2. 電源異常切断時に登録ジョブを起動する場合
- 5.1.3.1 切断時に登録ジョブを起動するジョブの登録方法

スケジュール運転や AC Management Console からのシャットダウン等、電源異常ではない 場合のシャットダウンが開始する前に、登録ジョブが起動します。

(1) 画面内の「電源切断時」-「切断時に登録ジョブを起動する」をチェックして、「起動ジョブの登録(T)」ボタンを押せる状態にします。

監視バラメータ	連携機能2   投入/切断	自動運転情	報   省電 ₂─ジ通知	:カ   その他 シํョブ起動
電源投入時				
□ 投入時(	こ登録ジョブを起動す	する( <u>J</u> )		
- 7=27U	投入時のジョブ起動	h		
	⑥ 起動する(B)	○超	!動しない( <u>C</u> )	
	±11 Ξ 4 2/		1	
	起動//	9/ り豆類(型)		
電源切断時				
	ジョブを起動する(S)			
)€ (3014/14/01/C±288				
944701時間(	E) 10 ·	分;	起動ジョブの登録	₹( <u>T</u> )
タイムアウト時間(	<u>F) 10 +</u>	分 ;	起動ジョブの登録	录( <u>T</u> )
946791日1日100 946791時間(	E) 10 ・	分 ; 動する( <u>W</u> ) —	記動ジョブの登録	₹(∐)
	E) 10 ・ 時に登録ジョブを起 リ) 1 ・	; 分 ; 記動する( <u>W</u> ) —	<b>起動ジョブの登</b> 着 起動ジョブの登着	<b>₹(1)</b> ⋧(E)
	E) 10 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	; 分 ; 動する( <u>W</u> ) — 分 ;	<b>起動ジョブの登</b> 着 起動ジョブの登着	<b>象(<u>)</u></b> ਡੋ( <u>E</u> )
タイルアウト時間(     マ源異常切断     タイルアウト時間(	E) 10 ・ 時に登録ジョブを起 リ) 1 ・	。 分 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	<b>起動ジョブ の登</b> 録 起動ジョブ の登録	<b>≹(∐</b> ∂( <u>E</u> )



(2) 画面内の「電源切断時」--「起動ジョブの登録(T)」ボタンを押して、切断時起動ジョブの登録 画面を表示します。

切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	参照( <u>S</u> )
	追加( <u>A</u> )
OK (추구가환)) //)	7° ( <u>H</u> )

図 5.1-11

- ※登録時の注意事項
  - 1. ジョブの起動順は、画面中段にあるリストボックスに登録された順番に起動し、実行され ます。

<電源異常切断時のジョブ登録例> コマンドリスト

1 C:¥QUICKJOB.EXE

上記登録例の場合、QUICKJOB.EXE を実行します。

- 2. 登録するジョブ名およびコマンド名は、ドライブ名を含めたフルパスで指定してください。
- 3. コマンドパラメータが必要な場合は、画面下段にあるテキストボックスで、直接入力して ください。
- 4. 登録できるジョブ数は、最大99個です。
- 5. 登録するジョブが複数ある場合は、(3)から(5)の手順を繰り返し実行してください。
- (3) 「参照」ボタンを押して、「ファイルの参照」ダイアログボックスを表示します。 登録するジョブ名の選択を行い、画面下段にあるテキストボックスに表示します。

1771ルの参照			×	🧱 ファイルの参照			×
← → ~ ↑ 💾 > PC	> ローカル ディスク ( > 🛛 🗸 ご	ローカル ディスク (C:)の検索	<i>م</i>	$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$	> PC > ローカルディスク (C:)	・ <b>ひ</b> ローカル ディスク (C:)の検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー		EEE -	. ()	整理 ▼ 新しいフ	オルダー	B== ·	• ()
🏪 ローカル ディスク (C ^	名前	更新日時	種類 ^	PC	<b>^</b> 名前 ^	更新日時	種類 ^
🗸 🛄 PC	Program Files	2019/03/20 13:29	ファイル		Program Files	2019/03/20 13:29	ファイル
→ <b>3</b> Dオブジェクト	Program Files (x86)	2019/04/04 10:44	ファイル	↓ ダウンロード	Program Files (x86)	2019/04/04 10:44	ファイル
	temp	2019/03/08 13:28	ファイル	デスクトップ	temp	2019/03/08 13:28	ファイル
	ver330x64	2019/03/05 15:49	ファイル		ver330x64	2019/03/05 15:49	ファイル
>	Windows	2019/03/27 12:59	ファイル		Windows	2019/03/27 12:59	ファイル
> 🔮 F#1X7F	winnt	2019/02/04 13:36	ファイル	E 6774	winnt	2019/02/04 13:36	ファイル
> 📰 ピクチャ	WORK	2019/04/04 11:26	ファイル	🔚 ビデオ	WORK	2019/04/04 11:26	ファイル
> 📕 ビデオ	ユーザー	2019/02/04 13:29	ファイル	🎝 ミュージック	ユーザー	2019/02/04 13:29	ファイル
> 👌 ミュージック	JOB1.EXE	2012/10/18 18:18	アプリケ	🏪 ローカル ディスク	(C IOB1 EXE	2012/10/18 18:18	アブリケ
> 🏪 ローカル ディスク (C	QUICKJOB.EXE	2012/10/18 18:18	アプリケ 🗸	👝 ボリューム (D:)	QUICKJOB.EXE	2012/10/18 18:18	アプリ! 🗸
- +PU 1 //53	<		>		~ <		>
ファイル名( <u>N</u> ): <sup>*</sup> .exe			~	ファイル名( <u>N</u> ):	QUICKJOB.EXE		~
ファイルの種類(工): ファイル (	*.exe)		~	ファイルの種類(工):	771µ (*.exe)		$\sim$
▲ フォルダーの非表示		保存( <u>S</u> ) キャ	ソセル	ヘ フォルダ−の非表示		保存( <u>S</u> ) キャ	ンセル



切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	参照(S)
C:¥QUICKJOB.EXE	追加( <u>A</u> )
OK 추타가전ル ヘル	7°( <u>H</u> )

または、画面下段にあるテキストボックスに直接入力をします。

🗵 5.1-13

(4) 画面下段にあるテキストボックスに表示されたジョブ名にコマンドパラメータの指定が必要 であれば、直接入力してください。

例) コマンドパラメータとして1を入力した場合

切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	to man data and
	<u>参照(S</u> )
C:¥QUICKJOB.EXE 1	追加( <u>A</u> )
0K \$77211 ^11	<sup>⁊°</sup> ( <u>H</u> )

🗵 5.1-14

(5) 「追加」ボタンを押して、実行するジョブのリストに追加します。

切断時起動ジョブの登録	×	切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。		通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )		変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )	01: C:¥QUICKJOB.EXE 1	削除( <u>D</u> )
	参照( <u>S</u> )		参照( <u>S</u> )
C:¥QUICKJOB.EXE 1	〔追加(A)		追加( <u>A</u> )
0K ++2/21/ /1/7	<sup>,°</sup> ( <u>Н</u> )	OK         キャンセル         ヘル)	7°( <u>H</u> )



(6) 登録するジョブの指定が全部終わりましたら、「OK」ボタンを押して登録します。

切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
D1: C:¥QUICKJOB.EXE 1	削除( <u>D</u> )
	6 17 (a)
	<u>参照(S</u> )
	追加( <u>A</u> )
OK キャンセル ヘル	7°( <u>H</u> )

図 5.1-16

(7) 画面内の「電源切断時」-「タイムアウト時間(F)」の設定を行います。 設定範囲は、1分~255分となります。 このタイムアウト時間以内に登録されたジョブが完了しない場合は、その時点でサーバの シャットダウン処理に移行しサーバが強制終了します。

タイムアウト時間(<u>F</u>) 10 分 •

図 5.1-17

5.1.3.2 電源異常切断時に起動するジョブの登録方法

電源異常によるシャットダウンの前に、登録ジョブが起動します。

(1) 画面内の「電源切断時」-「電源異常切断時に登録ジョブを起動する」をチェックして、「起 動ジョブの登録(E)」 ボタンを押せる状態にします。

連進機能 1	連進機能 2	白動運転	書記	省雷力	この他
監視パラメータ	投入/切断	×	¤ Ŧx   ッセージ通知	ање/Л :	/ 37 起動
-電源投入時					
□ 投入問	痔に登録ジョブを起動	する(」)			
	アル投入時のジョブ起	助			
	を 起動する(B)	0	起動しない( <u>C</u> )		
			. 1		
	起動シ	ョ7 の登録([	2)		
- 電源切断時					
E L'mair R± /= 36 /	신국 \' ' ' ' ' ' 구구 푸노 - ' 것 / 이				
□ 切断時に登	録ジョブを起動する( <u>S</u>	)			
□ <b>切断時に登</b> タイムアクト時間	録ジョブを起動する( <u>S</u> 間(E) 10 <u>・</u>	)	起動ジョブの	)登録(]],,,	
□ 切断時に登 ŷイkアウト時間	録ジョブを起動する( <u>S</u> 間(E) 10 <u>・</u>	) 分	起動ジョブの	)登録(]]	
<ul> <li>□ 切断時に登</li> <li>\$4k7\$</li> <li>\$4k7\$</li> <li>▶</li> <li>→</li> <li>■</li> <li>■</li></ul>	録ジョブを起動する(S 間(E) 10 ・    断時に登録ジョブを表	)   分 呈動する( <u>W)</u>  -	起動ジョブの	)登録(]]	
<ul> <li>□ 切断時に登</li> <li>タイルアクト時間</li> <li>-マ 電源異常切</li> <li>タイルアクト時間</li> </ul>	録ジョブを起動する( <u>S</u> 間(E) 10	)   分 記動する( <u>W</u> )	起動ジョブの	)登録(∐),,,,	
<ul> <li>□ 切断時に登</li> <li>タイルアウト時間</li> <li>□ マ 電源異常切</li> <li>タイルアウト時間</li> </ul>	録ジョブを起動する(S 間(E) 10 · 」 間時に登録ジョブを見 間(U) 1 ·	) 21 21 1分 1分	起動ジョブの <b>起動ジョブの</b>	)登録(①… ) <b>登録(E)…</b>	
<ul> <li>□ 切断時に登: <i>ŷ</i>(<i>L</i>)?ŷ)ト時間     </li> <li>□</li></ul>	録ジョブを起動する(S 間(E) 10 <u>-</u> 間(E) 10 <u>-</u> 調(U) 1 <u>-</u>	) 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	起動ジョブの <b>起動ジョブの</b>	登録(① ) <b>登録(<u>E</u>)</b>	
<ul> <li>□ 切断時に登</li> <li>タイルアウト時間</li> <li>□ 「 電源異常切</li> <li>タイルアウト時間</li> <li>タイルアウト時間</li> </ul>	録ジョブを起動する( <u>S</u> 間(E) 10 <u>・</u>  断時に登録ジョブを 間(U) 1 <u>・</u>	) 三動する(W) 「分	起動ジョブの <b>起動ジョブの</b>	登録(①,,,, ) <b>登録(<u>E</u>),,,</b>	~₩7 <sup>*</sup> (H)

図 5.1-18

(2) 画面内の「電源切断時」-「起動ジョブの登録(E)」ボタンを押して、電源異常時の切断時起動 ジョブの登録画面を表示します。

切断時起動ジョブの登録	×
電源異常シャットダウン時に起動されるジョブを 登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	参照( <u>S</u> )
	追加( <u>A</u> )
OK 특허가전기 ^1)	7° ( <u>H</u> )

図 5.1-19

※登録時の注意事項

1. ジョブの起動順は、画面中段にあるリストボックスに登録された順番に起動し、実行され ます。

<電源異常切断時のジョブ登録例> コマンドリスト 1 C:¥QUICKJOB.EXE

上記登録例の場合、QUICKJOB.EXE を実行します。

- 2. 登録するジョブ名およびコマンド名は、ドライブ名を含めたフルパスで指定してください。
- 3. コマンドパラメータが必要な場合は、画面下段にあるテキストボックスで、直接入力して ください。
- 4. 登録できるジョブ数は、最大99個です。
- 5.登録するジョブが複数ある場合は、(3)から(5)の手順を繰り返し実行してください。
- (3) 「参照」ボタンを押して、「ファイルの参照」ダイアログボックスを表示します。 登録するジョブ名の選択を行い、画面下段にあるテキストボックスに表示します。



図 5.1-20

切断時起動ジョブの登録	×
電源異常シャットダウン時に起動されるジョブを 登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	泰昭了ST
C:¥QUICKJOB.EXE	追加( <u>A</u> )
OK ++>>til ^il	7°( <u>H</u> )

または、画面下段にあるテキストボックスに直接入力をします。

図 5.1-21

(4) 画面下段にあるテキストボックスに表示されたジョブ名にコマンドパラメータの指定が必要 であれば、直接入力してください。

例) コマンドパラメータとして1を入力した場合

切断時起動ジョブの登録	×
電源異常シャットダウン時に起動されるジョブを 登録して下さい。	
	変更( <u>C</u> )
	削除( <u>D</u> )
	★ 87 (a)
	<u> 麥照(S)</u>
C:¥QUICKJOB.EXE 1	追加( <u>A</u> )
OK 추구가보ル ^개	7°( <u>H</u> )

図 5.1-22

(5) 「追加」ボタンを押して、実行するジョブのリストに追加します。

切断時起動ジョブの登録	×	切断時起動ジョブの登録	×
電源異常シャットダウン時に起動されるジョブを 登録して下さい。		電源異常シャットダウ 登録して下さい。	ン時に起動されるジョブを
	変更( <u>C</u> )		
	削除( <u>D</u> )	01: C:¥QUICKJOB.EXE	1 創除(D)
		→	
	参照( <u>S</u> )		参照( <u>S</u> )
C:¥QUICKJOB.EXE 1	[追加(A)]]		<u>追加(A)</u>
0K ++2/21/ 1/1/	<sup>у°</sup> ( <u>Н</u> )	OK	<u></u> ትየንቲ⊮



(6) 登録するジョブの指定が全部終わりましたら、「OK」ボタンを押して登録します。



🗵 5.1-24

 (7) 画面内の「電源切断時」-「タイムアウト時間(U)」の設定を行います。
 設定範囲は、1分~30分となります。
 このタイムアウト時間以内に登録されたジョブが完了しない場合は、その時点でサーバの シャットダウン処理に移行しサーバが強制終了します。

タイムアウト時間( <u>U</u> )	1	· 分			
図 5.1-25					

- 5.1.4 ジョブ登録の保存
  - (1) 「5.1.3 電源切断時のジョブ登録方法」にて登録された内容を保存するには、オプション画面 の下段にある「OK」ボタンを押してください。

オブ ション				×
連携機能 1 監視パラメータ	連携機能 2 投入/切断	自動運転情報	省電力 知	その他 ジョブ起動
─ 電源投入時───	きに啓録ジョブを記載す	tā(I)		
	7ル投入時のジョブ起動	)		
	④ 起動する( <u>B</u> )	C 起動しな	W( <u>C</u> )	
	起動ジョ	a7 <sup>:</sup> の登録( <u>D</u> )		
- 電源切断時	録ジョブを起動する( <u>S</u> )			
タイムアウト時間	間(E) 10 ·	分 起動ジ	ョブの登録( <u>T</u> )	
□□ 電源異常切	断時に登録ジョブを起	動する( <u>W</u> ) ―――		
タイムアウト時間	B(U) 1 ·	分 起動ジ	ョブの登録( <u>E</u> )	
OK		キャンセル		~1⁄7 <sup>°</sup> ( <u>H</u> )

図 5.1-26

# 第6章 ユーティリティ

ESMPRO/AC Lite は、各種ユーティリティコマンドを用意しています。ユーティリティコマンドを使う ことで、細やかな電源制御が可能となります。ユーティリティコマンドは特に明記がないかぎり、 ESMPRO/AC Lite のインストールディレクトリ直下にあります。

例:C:¥Program files (x86)¥AUTORC¥

コマンドの機能ならびに使い方を説明します。

### [名前]

ac\_e\_ups.exe - UPSの操作ならびに UPS からの情報取得を行う

## [構文]

ac e ups on community ups IPaddress

ac\_e\_ups lamp community ups\_IPaddress

ac\_e\_ups sts community ups\_IPaddress

#### [機能]

対象 UPS の電源供給 ON ならびにランプ・ブザーテストを行う。また対象 UPS の状態を取得し画 面出力する。

### [パラメータ]

on

対象 UPS からの電源供給を ON にする。

#### lamp

対象 UPS のランプ・ブザーテストを実行する。

### sts

対象 UPS の状態を画面出力する。

#### community

対象 UPS で有効な SNMP アクセス時に使用するコミュニティ名を指定する。(例:public)

#### ups\_IPaddress

対象 UPS に搭載した SNMP カードの IP アドレスを指定する。(例:172.16.1.9)

#### [戻り値]

(パラメータ on, lamp の場合)
 アクセスに成功した場合には、0 を返却する。
 アクセスに失敗した場合には、0 以外を返却する。

### (パラメータ sts の場合)

アクセスに失敗したか、動作中などで不確定な場合には、1 を返却する。 正常な ON 状態の場合には、2 を返却する。 ON 状態(バッテリ動作中)の場合には、3 を返却する。 ON 状態(ブースト制御中)の場合には、4 を返却する。 ON 状態(トリム制御中)の場合には、12 を返却する。 OFF 状態の場合には、7 を返却する。 OFF 状態(スリープ中)の場合には、5 を返却する。 OFF 状態(停電スリープ中)の場合には、11 を返却する。 SNMP カードの reboot 制御中の場合には、8 を返却する。 バッテリが使用できない状態の場合、6,9,10 のいずれかを返却する。

## [前提条件]

ac\_e\_ups コマンドを実行するマシンで、SNMP サービスが動作可能であること。 対象 UPS の SNMP カードに、AMC を使用した電源制御と同様、ac\_e\_ups コマンドを実行するマ シンの IP アドレスを登録していること。

## [コマンド実行例]

C:¥>ac_e_ups Error:Incorrect number of arguments specified.
usage:ac_e_ups [on sts lamp] community ups_IPaddress
C:¥>ac_e_ups on public 172.16.1.9 ON:[172.16.1.9]SNMP REQUEST:Success!
C:¥>echo %ERRORLEVEL% 0
C:¥>ac_e_ups lamp public 172.16.1.9 LAMP[172.16.1.9]SNMP REQUEST:Success!
C:¥>echo %ERRORLEVEL% 0
C:¥>ac_e_ups sts public 172.16.1.9 ups[172.16.1.9]is (2)[ON:正常]
C:¥>echo %ERRORLEVEL% 2
C:¥>ac_e_ups sts public 172.16.1.199 sts[172.16.1.199]SNMP error! (1)
C:¥>echo %ERRORLEVEL% 1
※%ERRORLEVEL%:コマンドの返却値を示す変数

## [名前]

acpoweroff.exe - 電源切断処理の実行

## [構文]

acpoweroff [r|R] [WaitTime]

## [機能]

電源切断処理を実行する。

パラメータを1つ以上指定した場合、非対話型コマンドとして動作し、確認ならびにメッセージを 一切表示しない。

パラメータを何も指定しなかった場合、対話型コマンドとして動作し、確認ならびにメッセージを メッセージボックスで表示する。

## [パラメータ]

#### r, R

リブートする。同オプション指定がない場合、電源切断処理はシャットダウンとなる。クラス タ連携時には、同オプションの指定(リブート)は不可である。

### <u>WaitTime</u>

<u>WaitTime</u> 秒 停止した後で、電源切断処理を実行する。指定可能な値は 0~4294967(10 進数、 デフォルト値 0)。

## [戻り値]

0x0000000 電源切断成功。

- 0x20000000 サービスが起動していない。
- 0x20000001 ESMPRO/AC サービスとの間の通信エラーが発生した。
- 0x2000003 関数内部エラーが発生した。
- 0x20000004 ESMPRO/AC がインストールされていない。
- 0x20000005 自動電源制御装置内部エラーが発生した。
- 0x20000013 ユーザによる関数の停止要求発生。

0x20000100 その他のエラー。

## [前提条件]

ESMPRO/ARC Service サービスが動作中であること。

[名前]

WAITJOB.EXE – 指定した時間だけコマンド終了を待機

## [構文]

WAITJOB [/?|/h|/H] [WaitTime]

[機能]

パラメータ WaitTime で指定した時間(秒)だけ待機した後、本コマンドを終了する。

ジョブ起動機能を使用する際、登録したジョブとジョブの間に一定の待ち時間を設定する必要があ る場合や、登録したジョブの後に一定の終了待ち時間を設定する必要がある場合などに使用する。 ※本コマンドは、ESMPRO/AC に対して何らかの操作を行うものではない。 <補足>

本コマンドは以下のような待ち合わせが必要な場合に利用します。

- ・バックアップに関するジョブなど、表面上、終了しているように見えているが、実際にはバック
   グラウンドで動作が継続しているようなジョブを登録した場合
- ・上記のジョブの後に本コマンドを登録することで、次に登録しているジョブの起動や、電源切断 時の場合、ジョブ終了時のシャットダウン起動を、指定した時間分、遅らせることができる。

[パラメータ]

/?, /h, /H

コマンド説明を表示する。

### **WaitTime**

<u>WaitTime</u> 秒 停止する。指定可能な値は 0~9999(10 進数、デフォルト値 20)。

## [戻り値]

0 のみ

## [ジョブ登録例

C:¥WORK¥BACKUP.EXE C:¥Program files (x86)¥AUTORC¥WAITJOB.EXE 600 C:¥USER¥JOB1.EXE

# 第7章 注意事項

ESMPRO/AC Lite を使用する際には、次の点にご注意ください。

## 7.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/ServerManagerの統合ビューア利用時の注意
   <統合ビューアから、ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスを起動する場合>
   「ESMPRO/ServerManager」のインストールを先に行う必要があります。
   ※ ESMPRO/ServerManager Ver.5 以降では統合ビューアが廃止されているため、ESMPRO/ServerManager から ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスの起動はできません。
- (2) 制御端末として仮想サーバ(Hyper-V など)を使用する場合、仮想サーバ上にのみ電源制御ソフトウェアをインストールしてください。仮想サーバ上で動作する仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。 ただし、仮想サーバ上で動作する仮想マシンは、仮想サーバのシャットダウンに連動してシャットダウンが行われるように、あらかじめ仮想サーバおよび仮想マシンの設定を行っておいてください。 ※設定方法の詳細については、各仮想サーバで提供されているドキュメント等をご確認願います。
- (3) 以下に挙げる操作を行う場合、セキュリティ設定を変更する必要があります。
  - ・Microsoft Edge を使って SNMP カード にアクセスする
  - ・Microsoft Edge を使って Web ブラウザから Linux サーバの設定を行う
  - 1. コントロールパネルにて [インターネットオプション] を選択
  - 2. "セキュリティ"タブを選択後、"信頼済みサイト"を選択
  - 3. 『サイト』ボタンを選択後、対象のサーバへアクセスするための URL を入力し、『追加』ボタンにより登録してください。

http://(対象サーバの IP アドレス) <例>

~[m]~

アクセスするサーバの IP アドレスが 192.168.0.3 の場合、"信頼済みサイト"には

以下のように登録します。

http://192.168.0.3

## 7.2 運用関連

- Windows サーバをご利用になる場合、コントロールパネルの「電源オプション」機能の「休止状態のサポート」はOFF(初期状態)にしてください。
   「休止状態」になった場合、ESMPRO/AutomaticRunningControllerによるサーバの自動運転は、制御不能になります。
- (2) 自動電源制御を行っている際は、サーバ本体のパワースイッチを使用して電源を切断しないでください。もしサーバ本体のパワースイッチにより電源切断を実行した場合、次回の電源自動投入は行われません。Smart-UPS をご利用の場合は、ON/テストボタンや LCD パネルからの操作により電源投入を行ってください。なお、Smart-UPS の OFF ボタンや LCD パネルからの操作により UPS を停止すると、サーバはシャットダウンが行われずにそのまま電源が切断されますので、ご注意ください。
- (3) ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスで行う操作は、Administrator 権限の あるユーザでのみ行うことができます。
- (4)「ユーザーアカウント制御」機能が含まれる OS において、「ユーザーアカウント制御」を有効化している場合、以下のような確認ダイアログが表示される場合があります。「はい」ボタンを選択して起動してください。

※インストール時に起動する Setupac.exe や、ESMPRO/AutomaticRunningController の GUI を実 行すると表示される場合があります。

💱 ユーザー アカウント制御 🛛 🔀					
② 次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?					
Ad	プログラム名: AcInstall M 確認済みの発行元: <b>NEC Cor</b> ファイルの入手先: CD/DVD	MFC アフツケーション r <b>poration</b> ドライブ			
_ 詳細を表	示する( <u>D</u> ) <u>これらの通知</u>	はい(Y) いいえ(N) 印を表示するタイミングを変更する			

図 7.2-1

- (5) 本バージョンの ESMPRO/AutomaticRunningController は、JIS2004 で新規追加された文字に対応 しておりません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の 新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。
- (6) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI や AC Management Console からパスワードを入力し て対象サーバにネットワーク接続する場合、Administrator アカウントでアクセスする必要があります。
- (7) Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用してスケジュール運転を行っている環境では、以下を注意してください。
  - ・ESMPRO/AutomaticRunningController のシャットダウン以外でシャットダウンを行った場合、 ESMPRO/AutomaticRunningController のスケジュール機能は有効になりません。
  - ・停電によるシャットダウンが行われ、スケジュール OFF 時刻経過後に復電により起動してきた

場合、スケジュール OFF 時刻は経過しているため、スケジュールによるシャットダウンは行われ ません。

- (8) リモートデスクトップ監視を行う場合、以下の設定画面では、「セッション数を監視する」チェックを有効にして、1以上の値を設定していただく必要があります。
  - ・ローカルサーバのみ監視
  - ・ローカルサーバ/リモートサーバ(共通条件)を監視
  - ・ローカルサーバ/リモートサーバ(個別条件)を監視

また、「ローカルサーバ/リモートサーバ(共通条件)を監視」や「ローカルサーバ/リモートサーバ (個別条件)を監視」でリモートサーバを監視する場合、「ESMPRO/ARC Service」サービスには、 ドメインサーバの Administrator アカウントを割り当てる設定を行う必要があります。

- 1. [管理ツール]→[サービス]を起動し、「ESMPRO/ARC Service」プロパティを表示してください。 「ESMPRO/ARC Serviceのプロパティ」画面が表示されます。
- 2. "ログオン"タブを選択して表示される画面において、「アカウント」を選択し、「アカウント」、 「パスワード」の設定を行ってください。
  - アカウント:アカウント情報にドメインサーバの"Administrator"の情報を入力してください。
     パスワード:「ログオン」アカウントのパスワード情報を入力してください。

全般       ログオン       回復       依存関係         ログオン:            〇 ローカル システム アカウント(L)       デスクトップとの対話をサービスに許可(W)         ● アカウント(D):       NEC¥Administrator       参照(B)         パスワード(P):       ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●		PRO/ARC Service のプロパティ	×
ログオン: ○ ローカル システム アカウント(L) □ デスクトップとの対話をサービスに許可(W) ④ アカウント(I): NEC¥Administrator 参照(B) パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	全般 ログオン 回復	依存関係	
<ul> <li>○ ローカル システム アカウント(L)</li> <li>○ デスクトップとの対話をサービスに許可(W)</li> <li>● アカウント(D): NEC¥Administrator 参照(B)</li> <li>パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li> <li>パスワードの 確認入力(<u>C</u>): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>	ログオン:		
<ul> <li>□ デスクトップとの対話をサービスに許可(W)</li> <li>● アカウント(D): NEC¥Administrator 参照(B)</li> <li>パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li> <li>パスワードの 確認入力(C): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>	○ ローカル システム アカウ	)ント( <u>L</u> )	
<ul> <li>● アカウント(I): NEC¥Administrator 参照(B)</li> <li>パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li> <li>パスワードの 確認入力(Q): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>	□ デスクトップとの対	話をサービスに許可( <u>W</u> )	
パスワード( <u>P</u> ): パスワードの 確認入力( <u>C</u> ):	⑦ アカウント(I):	NEC¥Administrator	参照( <u>B</u> )
パスワードの 確認入力( <u>C</u> ):	パスワード( <u>P</u> ):	••••••	
確認人刀( <u>C</u> ):	パスワードの	••••••	
	唯認人力( <u>C</u> ):		

図 7.2-2

「ESMPRO\_AC ヘルプ」情報の「ご使用にあたってのご注意」および「トラブルシューティング」 もご覧ください。「ESMPRO\_AC ヘルプ」はスタートメニューから起動することができます。

## 7.3 スケジュール関連

- (1) スケジュール作成でワイルドカードを使用した毎日設定を行う場合、あるいは、曜日指定で一週間の連続運転を設定する場合には、通常指定は運転休止にすることを推奨します。
- (2) スケジュール設定についての詳細は、『ESMPRO/AC GUI』のヘルプ、"「スケジュール」ダ イアログボックス" をご参照ください。
- (3) スケジュールの設定には優先順位があり、日付項目→曜日項目→通常項目という順位で優先 されます。
- (4) 祭日休日は、設定した時のスケジュールの有効期限内のみ運転休止に登録します。
- (5) 設定後は、グラフィック表示やカレンダ表示にて正しくスケジュールが登録されていること をご確認ください。

۲۶٬ ۱–۱۰ ×
スケジュール表示 加ンダ 表示
スケジュール有効期間: 2019年04月から2029年03月まで 変更( <u>C</u> )
運用スケジュール
19年05月06日 運転休止;振り替え(ごどもの日) 19年07月15日 運転休止;海の日 19年09月12日 運転休止;振り替え(山の日) 19年09月16日 運転休止;敬老の日 19年09月23日 運転休止;秋分の日 19年10月14日 運転休止;秋分の日 19年11月04日 運転休止;派り替え(文化の日) 20年01月13日 運転休止;成人の日 20年03月20日 運転休止;振り替え(憲法記念日) 20年07月20日 運転休止;海の日 20年09月21日 運転休止;海の日
OFF->ONが1分差のスケジュールは、リブートと認識します。
ОК <u>+</u> +у/еи ЛІГ <sup>7</sup> ( <u>H</u> )
R110I2A - ESMACGRS X
77√lμ( <u>F</u> ) ∧μ7 <sup>+</sup> ( <u>H</u> )
19年4月4日表示(G)       2019年04月04日(Thu)       そイムスケール:週       (S)->>       -(K)
D3/31 (Sun) (Mon) (Tue) (Wed) (Thu) (Fri) (Sat) (Sun) (Mon) (Tue) (Wed)
表示可能スケジュール:~2029/03/30 17:00迄 レコード数:2464 青い所をクリックすると ここに詳細を表示します



## 7.4 通信ポート番号関連

使用するポート番号は、以下のとおりです。

### ●制御端末、UPS 間の通信

	ポート番号	接続方向	ポート番号	
制御端末	不定/udp	$\rightarrow$	6000/udp	制御端末
制御端末	不定/udp	$\rightarrow$ $\leftarrow$	161/udp	UPS
AC Management	不定/udp	$\rightarrow$	6000/udp	判御辞士
Console	不定/udp	←	不定/udp	前御堂

表7-1

#### ●Client 監視機能使用時

	ポート番号	接続方向	ポート番号	
+_/	3999/udp	Ļ	不定/udp	クライマント
9—77	3999/udp	$\rightarrow$	3998/udp	シノイノント

表7-2

## 7.5 共有フォルダ関連

ESMPRO/AutomaticRunningController では、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォ ルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

#### 表7-3

「ARCDATA」の共有フォルダは、GUI をサーバ以外からリモートで行う場合に使用します。サーバ 上でのみ GUI を使用する場合には、この共有を解除しても問題ありません。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥CMSETUP	CMSETUP	Administrators フルコントロール

表7-4

「CMSETUP」の共有フォルダは、LAN 投入・切断監視に Client 監視機能を使用する場合に、クライ アントをセットアップするために使用します。Client 監視機能を使用しない場合には、この共有を解 除しても問題ありません。

## 7.6 AC-LINK 関連

UPS を使って自動運転を行う場合は、サーバ装置の BIOS の設定で、AC-LINK を「Power ON」に しておいてください。BIOS の設定変更の方法については、サーバにより異なりますので、サーバ本 体添付のマニュアルを参照してください。

なお、AC-LINK は、サーバ機種により「After Power Failure」あるいは「Automatic Power-On」と 記載されている場合があります。

# 第8章 障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。 ①ESMPRO/AutomaticRunningController ログ ②イベントログ ③バージョン情報 ④SNMP カードからの情報採取 (Smart-UPS LAN 制御の場合のみ)

また、Collect ログを採取すると①と②のログが一度に採取できます。(8.5 章参照) ログ採取時ば障害が発生した時刻も合わせてお知らせください。

## 8.1 ESMPRO/AutomaticRunningController ログ

サーバのログ採取方法

■ESMPRO/AC GUI からのログ採取方法 サービスおよび GUI の動作不良のため、ESMPRO/AC GUI からの操作でログ採取できない 場合があります。その場合は、後述の「■手動によるログ採取方法」を参照してください。

①ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下のサーバ指定ダイアログが表示されます。

サーバ	指定	×
 		1
	サール 名 ESM/PC MAINTE 🔹	
	□ 停止中の指定サーバを、リモート起動する	
[	OK キャンセル ヘルフ°( <u>H</u> )	



②サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、

#### ESM/PC MAINTE

と入力し、OK ボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。

אידלא א	×
ログ情報採取	ロク"セーフ"開始( <u>S</u> )
OK	<u> キャンセル</u>

図 8.1-2

③「ログセーブ開始(S)」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が終 了すると、以下のダイアログが表示されます。

<u>ログ採取正常終了メッセージ</u>

ログ採取正常終了のメッセージです。④の作業を実行してください。





ログ採取異常終了メッセージ

ESMPRO/	AutomaticRunningController	Х
8	C.¥Program Files (x86)¥AUTORC¥DATA¥LOG ディレクトリにログ情報 ファイルが存在しています。すべてのログ情報ファイルを待避してから再度実 行して下さい。	
	( <u>OK</u>	]

図 8.1-4

<上記のエラーメッセージが表示された場合>

既にログファイルが存在することが考えられます。

ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下に ログファイルが存在するかを確認してください。存在する場合はログファイルを退避す るか削除して、再度①からの操作をやり直してください。

④採取されたログのファイルは、ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下に置かれます。

エクスプローラ等により、DATA¥LOG ディレクトリごと USB メモリ 等の外部記憶媒体に 採取してください。DATA¥LOG 下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態に よって異なります。

 ・スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログ ファイルのサイズが大きくなります。

■手動によるログ採取方法

①エクスプローラ等を使用してください。

②ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥DATA ディレクトリ下の すべてのファイルを採取してください。 Client 監視を行っているクライアントのログ採取方法

Client 監視で不具合が発生した場合は、以下のファイルをUSBメモリ 等の外部記憶期本に採取してください。 【ディレクトリ】

Client 監視機能をセットアップした Client 側のコンピュータから Client 監視機能インストールディレクトリ 既定値: CMODULE

【情報ファイル名】 ACNETSVR.LOG ACNETSV.APC CLIENTD.APC ONJOB0.APC : ONJOB7.APC

連動サーバ数によってファイル数が異なります。

## 8.2 イベントログ

♦Windows Server 2012 R2

①[管理ツール]からイベントビューアを起動します。

②[Windows ログ]のツリーで Application ログを表示させ、【操作】を指定し、【すべてのイベントを名前を付けて保存】を選択します。

 ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存」ボタンを選択してください。ログがセーブされます。
 ④セーブしたファイルを USB メモリ等の外部記憶媒体に採取してください。
 ⑤同様にして、システム(ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。

◆Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016 の場合

①[Windows 管理ツール]からイベントビューアを起動します。

②[Windows ログ]のツリーで Application ログを表示させ、【操作】を指定し、【すべてのイベントを名前を付けて保存】を選択します。

 ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存」ボタンを選択してください。ログがセーブされます。
 ④セーブしたファイルを USB メモリ等の外部記憶媒体に採取してください。

⑤同様にして、システム (ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。

# 8.3 バージョン情報

障害発生時はログ以外に、アプリケーションのバージョン情報が必要です。 ESMPRO/AutomaticRunningControllerのバージョン情報は、以下の手順で取得できます。

- (1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を起動します。
- (2) メニューバーの「ヘルプ」 → 「バージョン情報」を選択すると、バージョン情報が表示され ます。

ESMPRO/AutomaticRunningController	– 🗆 X
設定(C) ヘルプ (H)	
ヘルプ <sup>*</sup> (H)	
	$\rightarrow 0PS$
サーN*名     : BUILD1006711       自動運転の状態     : 実行中       自動運転装置     : なし       サービ、スの状態     : 正常運転(Version 5.       サービ、スの状態     : 正常運転(Version 5.       切断監視要因     :       切断監視時刻     :       切断監視時刻     :       次回の切断監視時刻     :       投入時が、37 ** 動     :       0FF     :	
	×
ごの     ごの       監視要因     スクジェール	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
OK キャンセル ジャットタッウン(D)	^ルフ°(H)
^ → эン情報 ×	
ESMPRO/AutomaticRunningController Version 5.50 Copyright(C)1996-2022 NEC Corporation All Rights Reserved	

図 8.3-1
# 8.4 SNMP カードからの情報採取

Smart-UPS を LAN 制御している場合、UPS 毎に下記情報を採取してください。

なお、ご利用の Microsoft Edge バージョンおよび Microsoft Edge の設定によっては、ファイルに 保存する手順が一部異なる場合があります。手順の詳細はご利用の Microsoft Edge のバージョンお よびヘルプ等をご確認ください。

(A)のログイン画面が表示された場合は「8.4.1 SNMP カードの情報(A)」を参照してください。

(B)のログイン画面が表示された場合は「8.4.2 SNMP カードの情報(B)」を参照してください。

(C)のログイン画面が表示された場合は「8.4.3 SNMP カードの情報(C)」を参照してください。

Login			
Language			
Use Current	Language	<b>Y</b>	
User Name			
J.			
	Log On		
	Reset		
		Schneider Blectric	

図 8.4-1

(B)



図 8.4-2

(C)



図 8.4-3

8.4.1 SNMP カードの情報(A)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。

ステータス情報
 イベントログ情報
 データログ
 ④access control情報

- (1) SNMP カードへの接続方法①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIPアドレスを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示され ます。(ログを採取するSNMPカードのIPアドレスが172.16.1.169の場合)

http://172.16.1.169

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

<ul> <li>         ・</li> <li>         ・</li></ul>	/3lq0ZQ2sw4uFe7ZDmq+q0A/ り( <u>A)</u> ッール( <u>T)へルプ(H</u> )	ク -	×	- □ × ☆☆戀じ
Login			_	^
Language	rent Language			
User Nam				
Password				
		Log On		
		Reset		
			Schneider Electric	
				€ 100% ▾

図 8.4-4

### (2) 情報の採取方法

#### ①ステータス情報

「Status」メニューから「UPS」を選択します。

下記 Status 情報が表示されますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存] を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。

Schu G	Electr	ic <sup>-</sup> UPS	Network Manag	ement Card 2	apc Eng	Vo Alarms   🗷 Log Off   Help   🖈	
Home	Status 👻	Control -	Configuration	• Tests •	Logs 🗸	About -	
UPS Status							
Smart-UPS 1500							
Last Battery Transfer UPS battery test			1	Battery Temperature 13.4°C			
Runtime Remaining 4hr 49min							
UPS Input							
Input Voltage 102.9 VAC @ 60.0 Hz							
UPS Output							
Output Voltage 102.9 VAC @ 60.0 Hz			L C	.oad Current 0.0 Amps			
Output VA 0.0 %			0	Output Watts			
Output Efficiency load too low			1	Output Energy Usag 1656.00 kWh	e		
Battery Status							
State of Charge			1	Battery Voltage			
Next Battery Replacement Date	,			1.5 400			

図 8.4-5

## ②イベントログ情報

「Logs」メニューを選択し、「Events」→「Log」を選択します。

Event Log が表示されますので、画面下の Event Log Filtering より 「Event time」プルダウン メニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。

その後、画面右上のフロッピーディスクアイコンをクリックすると、ダウンロードの確認メッ セージが表示されます。

				-	
C (1/1)	ItEBaSGSSJ5XIr4AkA/e	eventweb.htm	P → C Ø UPS Network Management ×	1	66 17 18 🙂
	UPS Network M Smart-UPS/Matrix Ap	lanagement Carc	12	♥ No Alarms 9 apc   English   ३ Log Off   Help   ★	
Home Status - Co	ntrol - Configuration	n + Tests + l	.ogs - About -		
Event Log Filtering Event Time © Last All Logs V From 01/01/2001 Apply Clear Log Filtering	00:00 to 04/	必ず 選択 04/2019 13: in New Window	*「All Logs」を してください		
Event Log	i Next > >>				
Date	Time	User	Event		
04/04/2019	13:14:56	apc	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.		
04/04/2019	13:14:46	System	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.		
04/04/2019	13:10:36	apc	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:36:24	System	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:32:21	System	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:31:11	apc	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:27:18	apc	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:25:40	System	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:22:40	apc	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:16:49	System	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.		
04/03/2019	09:13:04	apc	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.		
04/03/2019 1 2 3 4 5 6	09:12:59	арс	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.		
Knowledge Base   Schneider Ele	ctric Product Center   So	chneider Electric Dow	nloads Sin	© 2018, Schneider Electric. All rights reserved. e Map   Updated: 04/04/2019 at 13:15 (172.16.1.169)	

図 8.4-6

イベントログファイルを開くか保存するか尋ねられますので、「保存」を選択します。

イル(E) 編集(E)	.p://172.16.1.169/№МС/ ) 表示(⊻) お気に入り	′es6R1tEBaSGSSJ5XIr44 り( <u>A</u> ) ツール( <u>T)</u> ヘル	\kA/eventweb.htm プ( <u>H</u> )	D + G	UPS Network Management Of UPS Network Management	ent × [ _ ]		থি যি ঘ
	Schneide Blecti	UPS Netwo Smart-UPS/Ma	vrk Management ( trix Application	Card 2		ົ0 apc∣ Eng	VNO Alarms lish   🕮 Log Off   Help   🖈	
	Home Status <del>-</del>	Control - Config	uration - Tests -	Logs - A	bout -			
	Event Log Filteri Event Time © Last All Logs O From 01/01/2001 Apply Clear Log	ing 00:00 to Filter Log Launc	04/04/2019 h Log in New Window	13:17				
	Event Log							
	1 2 3 4	5 6 Next > >>						
	Date	Time	User	Event				
	04/04/2019	13:14:56	apc	Web user '	apc' logged in from 172.16.1.198.			
	04/04/2019	13:14:46	System	Web user	apc' logged out from 172.16.1.19	8.		
<b>_</b>	04/04/2019	13:10:36	арс	Web user	apc' logged in from 172.16.1.198.			
	<b>172.16.1.169</b> から ev	rent.txt を開くか、また	は保存しますか?		ファイルを開く	((0) 保存(5) ▼	キャンセル(C) ×	
				図	8.4-7			

172.16.1.169¥event.txt

# ③ データログ情報

「Logs」メニューを選択し、「Data」→「Log」を選択します。 Data Log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、 「Apply」を選択します。 その後、画面中ほどのフロッピーディスクアイコンをクリックすると、ダウンロードの確認メッ セージが表示されます。

← ⇒ 𝚱 http://1	172.16.1.169/NM	IC/es6R1tEBa	aSGSSJ5XIr4Ak	⟨A/dataweb.	htm	ۍ <del>،</del> م	🝠 UPS I	Network M	anagement	× 📑			_	□ ☆ ☆	× 9 ۋر ز
ファイル( <u>E</u> ) 編集( <u>E</u> ) 表	長示(⊻) お気に	入り( <u>A</u> ) ツー	·ル(I) ヘルプ	( <u>H</u> )											
So	Chneic CElect	tric <sup>e</sup>	JPS Networ	k Managen × Application	nent Card	2					♀ apc  Engli	Sh   🕮 Log Of	Alarms ff   Help   ★		
н	lome Status ·	- Control	- Configur	ation <del>-</del> Te	ests <del>-</del> L	ogs <del>v</del> A	lbout <del>-</del>								
Da	ata Log														
Da Da	ata Log Filte ta Time Last All Logs 💌	ring		必ず 選択	「AII I してく	_ogs_ ださ	」を い								
	From 01/01/2001 Apply Clear D	00:0 ata Log La	0 to	04/04/2019 ew Window	13:1	8									
Da	ata Log		Smart-UPS	X 3000											
D	ate	Time	Vmin	Vmax	Vout	lout	%Wout	%out	FrqOut	%Cap	Vbat	Tups			
0	4/04/2019	13:09:07	98.58	99.53	99.25	0.00	0.00	0.00	60.00	100.00	136.34	+25.64			
0	4/04/2019	12:59:07	98.89	99.73	99.13	0.00	0.00	0.00	60.00	100.00	136.31	+25.70			
0	4/04/2019	12:49:07	98.84	100.23	99.14	0.00	0.00	0.00	60.00	100.00	136.31	+25.71			

図 8.4-8

# データログファイルを開くか保存するか尋ねられますので、「保存」を選択します。

集正 表示() お気に入り(A) ツールご ヘルブ(H)   Specific UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application   UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application   Card Log off   Help   ★   Home Status Control Configuration Tests Logs About +   Data Log   Data Log Filtering   Data Time    © Last   All Logs V   Cear Data Log   Launch Log in New Window	
Home Status Control Configuration Tests Logs About +	
Data Log Data Log Filtering Data Time © Last All Logs 01/01/2001 00:00 to 04/04/2019 13:18 Apply Clear Data Log Launch Log in New Window	
Data Log Filtering Data Time © Last All Logs 🗹 O From 01/01/2001 00:00 to 04/04/2019 13:18 Apply Clear Data Log Launch Log in New Window	
All Logs I         O From         01/01/2001       00:00       to       04/04/2019       13:18         Apply       Clear Data Log       Launch Log in New Window	
O From         01/01/2001         00:00         to         04/04/2019         13:18           Apply         Clear Data Log         Launch Log in New Window	
01/01/2001         00:00         to         04/04/2019         13:18           Apply         Clear Data Log         Launch Log in New Window	
Apply Clear Data Log Launch Log in New Window	
Data Log	
Smart-UPS X 3000	
Date Time Vmin Vmax Vout lout %Wout %out FrqOut %Cap Vbat Tups	
04/04/2019 13:09:07 98:58 99:53 99:25 0.00 0.00 0.00 60:00 100:00 136:34 +25:64	
172.16.1.169 から data.txt を開くか、または保存しますか? ファイルを開く(の) 保存(S) ▼ キャンセル(C) ×	
CALL CONTRACT 02.00 00.73 00.42 0.00 0.00 00.00 40	

④access control情報

「Configuration」のメニューを選択し、「Network」→「SNMPv1」→「Access Control」と選択し ます。

下記 Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、②、③と同様の方法で情報をファイルに保存してください。

<ul> <li></li></ul>	WgyuBVOCw/snmpacc.htm タャ C イルプ(出) S Network Management Card 2 rt-UPS/Matrix Application	/anagement × ⊡ ✓ No ♀ apc   English   과 Log Of	⇔ ☆ Alarms f   Help   ★
Home Status - Control -	Configuration - Tests - Logs - Ab	out 🗸	
Configure SNMPv1 Ac	cess Control		
Access Control			
Community Name	NMS IP/Host Name	Access Type	
public	172.16.1.15	Write +	
public	172.16.1.62	Write +	
public2	172.16.1.255	Write +	
public	172.16.1.255	Write +	
Knowledge Base   Schneider Electric Pro	duct Center   Schneider Electric Downloads	© 2018, Schneider Electric. All Site Map   Updated: 04/03/2019 at 09:29	ights reserved. (172.16.1.169)

🗷 8.4-10

8.4.2 SNMP カードの情報(B)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。 ①ステータス情報 ②イベントログ情報 ③データログ ④access control情報

- SNMP カードへの接続方法
  - ①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIPアドレスを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示され ます。(ログを採取するSNMPカードのIPアドレスが172.16.1.163の場合) http://172.16.1.163

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

<ul> <li>マテイル(E) 編集(E)</li> </ul>	p://1 <b>72.16.1.163</b> /NJ/IC/C23Z: <del>表示性</del> お気に入り( <u>A</u> )	zsMsLw4ZX <b>ク - ぐ</b> ツール( <u>ロ</u> ヘルプ( <u>H</u> )	🕜 APC   Log On	× [*	다 X (양 (영
	Login				
				Use Current Language 🗸	
	5		User Name:	Log On Reset	
			9	Schneider Electric	
					🔍 100% 🔻

🗷 8.4-11

### (2) 情報の採取方法

#### ①ステータス情報

「Status」メニューから「UPS」を選択します。

下記 Status 情報が表示されますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存] を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。

Schneid Blect	er UPS Net	work Managemer S/Matrix Application	t Card 2			( apc   English   Log C	🏷 No Alar 9ff   Help   <sub> </sub>
Home	Status	Control	Configuration	n Tes	ts Logs	About	
Status Smart-	UPS X 3000						
Last Battery Trar Internal Tempera Runtime Remain	isfer: iture: ing:	UPS 24.6 18hi	battery test °C 12min 15sec				
UPS Input Input Voltage:		99.3	VAC	@ 60.0 Hz			
UPS Output Output Voltage: Load Current:		99.3 0.0 /	VAC	@ 60.0 Hz			
Output VA: Output Watts: Output Efficiency Output Energy U	: sage:	0.0 <sup>0</sup> 0.0 <sup>0</sup> Ioad 390.	6 6 too low 82 kWh				
Battery Status Battery Capacity: Battery Voltage: Num of External Beplace Battery	Batteries: Date:	100. 136. 0 04/2	0 % 5 VDC 4/2022				

🗷 8.4-12

## ②イベントログ情報

「Logs」メニューを選択し、「Events」→「Log」を選択します。 Event Log が表示されますので、Event Log Filtering 画面の「Event time」プルダウンメニュー から「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。



🗷 8.4-13

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザの メニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、 単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保 存してください。

> ~ -			
-))) <b>9</b>	http://172.16.1	.163/NMC/PC6A	P35h3hw5lfvUqNnb9Q/events.htm 2 C O APC   UPS Network Manageme 🔗 Event Log 🛛 🗙 📑 協 公 戀
イル(F) 編9	集(E) 表示(V)	お気に入り(A)	ツール(T) ヘルプ(H)
新しいタブ(	Ŋ	Ctrl+T	Event
タブを複製(	B)	Ctrl+K	Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.
新規ウィント	<sup>(</sup> ウ(N)	Ctrl+N	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.
新規セッシ	ョン(I)		Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.
盟((O)		Ctrl+O	Web user 'apc' logged out from 172.16.1.198.
メモ嶋で復	隼(D)		Web user 'apc' logged in from 172.16.1.198.
(星友(S)	~( <b>D</b> )		Web user apc logged out from 172,16,1,198.
(本)(3)		Chilly S	Web user 'apc' logged in from 1/2.16.1.198.
石削を打り	(1木仔(A)	Ctri+S	Web user 'apc' logged out from 1/2.16.1.198.
タフを閉じる	(C)	Ctrl+W	Web user apc logged in from 1/2.16.1.198.
ページ設定	U)		UPS: passed via internal operation a self-test.
印刷(P)		Ctrl+P	UPS: Staned a seri-test.
印刷プレビ	L-(V)		UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned on.
			UPS: The power for switched outlet group 2, Outlet Group 2, is now turned on.
送信(E)		>	UPS: The power for switched outlet group 1, Outlet Group 1, is now turned on.
インポートと	エクスポート(M)		UPS: The output power is now turned on.
このサイトを	追加(D)	>	UPS: Switched outlet group 3, Outlet Group 3, has been commanded to turn on, sequenced.
プロパティル	)		UPS: Switched outlet group 2, Outlet Group 2, has been commanded to turn on, sequenced.
201001(1)	,		UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn on, sequenced.
(∧) [ ≫i	00-55-45		UPS, The output power is tailed on.
02/2019	09.55.45	Device	UPS: The power for switched outlet group 3, outlet Group 3, is now turned off
02/2019	09:55:45	Device	UPS: The power for switched outlet group 2, obtained Group 1, is now turned off
02/2013	00:52:45	Device	or or the power for encied outperformance outperformance of the provided to the other of the power of the pow
02/2019	00:52:45	Device	or 5. Switched outel group 5, Outel Group 5, his ben commanded to fur off, sequenced
02/2013	00:52:45	Device	or of ormital outsing young 2, outsit of our 2, has been commanded to turn off, sequenced.
02/2019	09:52:44	Device	UPS: A graceful shutdown process is being used to shut down the load equipment before the UPS turns off. Initiated by SNMP from 172,161,193.
02/2019	09:52:35	Device	UPS: Switched outlet group 3, Outlet Group 3, has been commanded to turn off, sequenced.
02/2019	09:52:35	Device	UPS: Switched outlet group 2, Outlet Group 2, has been commanded to turn off, sequenced.
02/2019	09:52:35	Device	UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn off, sequenced.
02/2019	09:52:34	Device	UPS: A graceful shutdown process is being used to shut down the load equipment before the UPS turns off. Initiated by SNMP from 172.16.1.193.
02/2019	08:28:47	Device	UPS: passed via internal operation a self-test.
02/2019	08:28:38	Device	UPS: Started a self-test.
02/2019	08:28:21	Device	UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned on.
02/2019	08:28:21	Device	UPS: The power for switched outlet group 2, Outlet Group 2, is now turned on.
02/2019	08:28:21	Device	UPS: The power for switched outlet aroun 1. Outlet Group 1, is now turned on

🗷 8.4-14

# ③ データログ情報

「Logs」メニューを選択し、「Data」→「Log」を選択します。 Data Log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、 「Apply」を選択します。

	er UPS	Network I	Manageme Application	ent Card 2						apc   English	🎸 No Alan   Log Off   Help
Home	Status		Control		必ず 択して	「All Lo こくださ	gs」を い	選	ogs	About	
Data Log Filt	ering			ļ							
Data Time:	() ()	Last From	All Logs \	00:00	to 04/0	4/2019	13:58				
Apply Cle	ar Data Log	Launch Log i	in New Windo	W							
											0-11
Data Log											IHI
Data Log		Smart-UF	PS X 3000								IH
Data Log Date	Time	Smart-UP Vmin	PS X 3000 Vmax	Vout	lout	%Wout	%out	FrqOut	%Cap	Vbat	Tups
Data Log Date 04/04/2019	Time 13:53:51	Smart-UF Vmin 99.04	PS X 3000 Vmax 99.92	Vout 99.42	lout 0.00	%Wout	%out 0.00	FrqOut 59.97	%Cap 100.00	Vbat 136.46	Tups 24.70
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87	Vout 99.42 99.56	lout 0.00 0.00	%Wout 0.00 0.00	%out 0.00 0.00	FrqOut 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:33:51 13:23:54	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60	Vout 99.42 99.56 99.29	lout 0.00 0.00 0.00	%Wout 0.00 0.00 0.00	%out 0.00 0.00 0.00	FrqOut 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:33:51 13:23:51 13:21:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 00.57	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14	lout 0.00 0.00 0.00 0.00	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00	%out 0.00 0.00 0.00 0.00	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.64
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/0219	Time 13:53:51 13:43:51 13:33:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37 98.54 98.54	<b>S X 3000</b> <b>Vmax</b> 99.92 99.87 99.60 99.37 99.57 90.56	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	%out 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.64 24.66 24.67
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:33:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51 12:53:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37 98.54 98.67 99.03	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 99.57 99.56 100.26	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28 99.48	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	%out 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.66 24.67 24.66 24.67
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:23:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51 12:23:51 12:43:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37 98.54 98.67 99.03 99.59	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 99.57 99.56 100.26 100.60	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28 99.48 99.73	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%out 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.66 24.66 24.67 24.64 24.67
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:23:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51 12:53:51 12:43:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.57 98.54 98.67 99.03 99.59 99.89	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 99.57 99.56 100.26 100.60 100.81	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28 99.48 99.73 100.28	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%out 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.66 24.67 24.64 24.67 24.67 24.72
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:23:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51 12:53:51 12:43:51 12:23:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37 98.54 98.67 99.03 99.59 99.89 99.93	PS X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 99.57 99.56 100.26 100.60 100.81 100.81	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28 99.48 99.73 100.28 100.46	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%out 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.66 24.67 24.64 24.67 24.67 24.72 24.74
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:23:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51 12:53:51 12:43:51 12:23:51 12:23:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37 98.54 98.67 99.03 99.59 99.89 99.93 99.93 99.62	25 X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 99.57 99.56 100.26 100.60 100.81 100.81 100.81	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28 99.48 99.73 100.28 100.46 100.04	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%out 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.66 24.67 24.64 24.67 24.72 24.74 24.70
Data Log Date 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019 04/04/2019	Time 13:53:51 13:43:51 13:23:51 13:23:51 13:13:51 13:03:51 12:53:51 12:43:51 12:23:51 12:23:51 12:13:51	Smart-UF Vmin 99.04 98.70 98.50 98.37 98.54 98.67 99.03 99.59 99.89 99.93 99.93 99.62 99.09	25 X 3000 Vmax 99.92 99.87 99.60 99.37 99.56 100.26 100.60 100.81 100.81 100.75 100.12	Vout 99.42 99.56 99.29 99.14 98.78 99.28 99.48 99.73 100.28 100.46 100.04 100.04	lout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%Wout 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	%out           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00           0.00	FrqOut 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97 59.97	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46 136.46	Tups 24.70 24.68 24.62 24.64 24.66 24.67 24.64 24.67 24.72 24.72 24.74 24.70 24.70

🗷 8.4-15

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザの メニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、 単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保 存してください。

(-)(-)]	http:// <b>172.16.1</b>	.163/NMC/PC64	AP35h3hw5lfvUqNnb	9Q/data.htm	D-C	🝠 APC   UPS	Network Mana	geme 🝠 Dat	a Log	×	6 🗘
ァイル(F) 編集	(E) 表示(V)	お気に入り(A)	ツール(T) ヘルプ(H	)				-	-		
新しいタブ(T	)	Ctrl+T	JPS X 3000								
タブを複製()	3)	Ctrl+K	Vmax	Vout	lout	%Wout	%out	FrqOut	%Cap	Vbat	Tups
新担ウインド	-, ウ(N)	Ctrl+N	99.92	99.42	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.70
おいたノーノー	2(10)	Cut+N	99.87	99.56	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.68
新規セッショ	D(I)		99.60	99.29	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.62
開く(O)		Ctrl+O	99.37	99.14	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.64
メモ帳で編録	集(D)		99.57	98.78	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.66
保存(S)			99.56	99.28	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.67
名前を付け	(保存(A)	Ctrl+S	100.26	99.48	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.64
タブを閉じる	(C)	Ctrl+W	100.60	99.73	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.67
A <sup>0</sup> > (2), min.	D.		100.81	100.28	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.72
ハーン設定(	U)		100.81	100.46	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.74
EIJ乕川(P)		Ctrl+P	100.75	100.04	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.70
印刷プレビュ	-(V)		100.12	100.07	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.70
送信(E)		>	99.56	99.53	0.00	0.00	0.00	60.09	100.00	136.46	24.69
インポートと	インポートとエクフポート(M)		99.15	98.93	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.67
インボードCエンスボード(W) スのサイトな)自動(D)		,	99.04	98.68	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.63
2001120	旦川山(D)	>	98.95	98.56	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.60
プロパティ(R)			99.03	98.50	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.56
終了(X)			99.10	98.76	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.52
/04/2019	10:53:51	98.28	99.34	98.65	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.50
/04/2019	10:43:51	98.21	99.20	98.85	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.48
/04/2019	10:33:51	98.17	99.34	98.68	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.48
/04/2019	10:23:51	98.37	99.26	98.90	0.00	0.00	0.00	60.09	100.00	136.46	24.46
1/04/2019	10:13:51	98.10	99.15	98.92	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.45
1/04/2019	10:03:50	98.46	99.39	98.96	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.44
/04/2019	09:53:50	98.31	99.31	99.10	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.42
/04/2019	09:43:50	98.53	99.45	99.01	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.40
/04/2019	09:33:50	98.48	100.53	99.17	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.39
/04/2019	09:23:50	99.14	100.26	100.03	0.00	0.00	0.00	60.09	100.00	136.46	24.40
/04/2019	09:13:50	98.84	100.10	99.50	0.00	0.00	0.00	60.09	100.00	136.46	24.41
/04/2019	09:03:50	97.68	99.93	99.56	0.00	0.00	0.00	60.09	100.00	136.46	24.39
/04/2019	08:53:50	97.98	100.59	98.25	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.39
/04/2019	08:43:50	97.71	99.50	98.51	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.40
/04/2019	08:33:50	96.87	100.00	99.06	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.42
1/04/2019	08:23:50	98.81	100.17	99.78	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.45
/04/2019	08:13:50	98.85	100.32	99.54	0.00	0.00	0.00	59.97	100.00	136.46	24.49

🗵 8.4-16

※②Logs → Events → Log、③Logs → Data → Log ともに、以下の方法で採取してください。 (保存方法その1)

🥔 Web ページの保存	×
	・ ひ UPS Logsの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	≣== ▼ (?)
🏪 ローカル ディスク (C 🔨 名前	更新日時 種類
PC         検索条件に一           3D オブジェクト         -	- 致する項目はありません。
↓ ダウンロード	複数の UPS の情報
■ デスクトップ	を採取される場合
ドキュメント	
■ ピクチャ	は、ノアイル名を変
📓 ビデオ	更してください。
🎝 ミュージック	
🟪 ローカル ディスク (C	
-2012 1 / 755 V X	>
ファイル名( <u>N</u> ): Event Log.mht	~ ~
ファイルの種類( <u>T</u> ): Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
▲ フォルダーの非表示 エンコード(E): Unicode (UTF-8)	マ保存(5) キャンセル

図 8.4-17

「Web アーカイブ、単一のファイル(\*.mht)」形式で保存する場合は、保存されるファイルが\*.mht ファイルのみになりますので、通常はこちらを推奨致します。ただし、複数のUPSに関する情報 を採取される場合は、ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名 を変更して保存してください。

(保存方法その2)



図 8.4-18

「Webページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式で保存する場合は、htmファイルとEvent Log.filesという 名前のフォルダが作成されますので、その両方を送付してください。こちらについても、複数のUPS について採取される場合は、ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイ ル名を変更して保存してください。 ④access control情報

「Configuration」のメニューを選択し、「Network」→「SNMPv1」→「Access Control」と選択し ます。

下記 Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、②、③と同様の方法で情報をファイルに保存してください。

	tric Smart-UP	S/Matrix Application				<mark>apc</mark>   English   L	.og Off   Help   🙀
Home	Status	Control	Configuration	Tests	Logs	About	
Access Cor	ntrol						
Community Na	ame	NI	MS IP/Host Name		Access Type		
public		17	2.16.1.61		Write +		
public		17	2.16.1.255		Write +		
public		17	2.16.1.62		Write +		
private		1/	2.16.1.108		vvrite +		

🗷 8.4-19

8.4.3 SNMP カードの情報(C)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。 ①ステータス情報 ②イベントログ情報 ③データログ ④access control情報

- (1) SNMP カードへの接続方法
  - ①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIPアドレスを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示され ます。(ログを採取するSNMPカードのIPアドレスが172.16.1.139の場合) http://172.16.1.139

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

(金http://172.16.1.139/logo).htm タマ C     (金 APC   Log On × [     7ァイル(E) 編集(E) 表示(公 お気に入り(A) ツール(E) ヘルプ(H)     (日)	- □ × * ☆☆☺
User Name: Password: Log On Reset	
	€ 100% ▼:

図 8.4-20

#### (2) 情報の採取方法

#### ①ステータス情報

「UPS」タブを選択し、「Status」を選択します。

下記 Status 情報が表示されますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存] を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。

マンピントログン 172.16.1.139 (updat.htm) ファイル() 編集() 表示() お気に入り() ツール() ① 172.16.1.139 Home UPS Log Overview	、 ヘルブ( <u>H)</u> 5 Administration Status	Help   Log Off	₩ 값 않 ♥ 다 1
Status Control Configuration power shutdown general self-test schedule Diagnostics Scheduling Sync Control PowerChute® configuration clients About	Last Battery Transfer: Internal Temperature: Runtime Remaining: Power Input Voltage: Output Voltage: Frequency: Load Load Power: Battery Capacity: Battery Voltage: External Batteries:	Due to software command or UPS's test control 25.6°C 5 hours 39 minutes 100.0 VAC 100.0 VAC 60.0 Hz 0.0 %Watts 100.0 % 27.67 VDC 0	
Link 1   Link 2   Link 3		UPS Network Management Card	
© 1995 - 2007, American Power Co	nversion Corp. All rights reserved.	Updated: 2019-04-04 at 1*	:27

図 8.4-21

②イベントログ情報

「Logs」タブを選択し、「Events → log」を選択します。 Event log が表示されますので、Event log (Filtering) 画面の 「Ev

Event log が表示されますので、Event log (Filtering) 画面の 「Event time」プルダウンメ ニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。



🗵 8.4-22

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザの メニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、 単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保 存してください。

									-			×
(	) 🕞 🥭 http:	://172.16.1	.139/events.htm			Q - Q	APC   UPS Network Managem.	. <i> (</i> APC   Event Log	× 📑	ಹಿಕ	5 🐯	<del>"</del>
ファイ	ル(F) 編集(E)	表示(V)	お気に入り(A)	ツール(T)	ヘJレプ(H)							
	新しいタブ(T)		Ctrl+T			1.12						~
	タブを複製(B)		Ctrl+K	n change.	Event log web display til	me selectior	1.					1
	新規ウィンドウ(N)		Ctrl+N	st.								
	新規セッション(I)			er is now	turned on.							
	開く(O)		Ctrl+O	c' logged	in from 172.16.1.198.							
	メモ帳 で編集(D)			er is turne	ed off.							
	保存(S)			oc' logged	out from 172.16.1.198.							
	名前を付けて保存	₹(A)	Ctrl+S	uration cl	nange. SNMP access cont	rol 1 addres	S.					
	タブを閉じる(C)		Ctrl+W	st. er is now	turned on							
	ページ設定(日)			st.								
			Chully D	c' logged	in from 172.16.1.198.							
	다가하)(P)		Ctri+P	er is turne	ed off.							
	印加リノレビユー(V).			st.								
	送信(E)		>	er is now	turned on.							
	インポートとエクスパ	ポート(M)		st.	1							
	このサイトを追加(	D)	>	er is turne	ed off.							
	10 (f= (10)			er is now	turned on.							
				st.								
	於」(X)			er is turne	ed off.							
2019	01-21 15:03:4	12 UPS:	Passed a self-te	est.								
2019	01-21 15:03:2	27 UPS:	The output pow	ver is now	turned on.							
2019	01-21 15:03:2	27 UPS:	Started a self-t	est.								
2019	01-18 17:36:4	46 UPS:	The output pow	er is turne	ed off.							
2019	01-18 10:5/:0	)/ UPS:	Passed a self-te	est.								
2019	01-18 10:56:4	45 UPS:	The output now	est. Jer is now	turned on.							
2019	01-11 17:30:0	09 UPS:	The output pow	er is turne	ed off.							
2019	01-11 11:34:4	13 Syste	em: Web user 'a	pc' logged	out from 172.16.1.211.							
2019	01-11 11:29:4	48 Syste	em: Web user 'a	pc' logged	in from 172.16.1.211.							
2019	01-11 10:01:5	51 Syste	em: Web user 'a	pc' logged	out from 172.16.1.211.							V
2019	01-11 09-58-5	51 Syste	m. Web user 'a	nc' logged	in from 172 16 1 211							

図 8.4-23

## ③ データログ情報

「Logs」タブを選択し、「Data → log」を選択します。 Data log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、 「Apply」を選択します。



図 8.4-24

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザの メニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、 単一のファイル(\*.mht)」形式または「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保 存してください。

												-		×
(+)(=) 🥖	http:// <b>172.16.1</b>	.139/data.htm				P-X O	172.16.1.139		0.1	72.16.1.139 の待	寺機中	× 📑	6 4	? 慾 🙂
ファイル(F) 編集	(E) 表示(V)	お気に入り(A)	ツール(T)	ヘルプ(H)										
新しいタブ(T	)	Ctrl+T	UPS 150	00 RM										
タブを複製(E	3)	Ctrl+K		Vmax	Vout	%Wout	Freq	%Cap	Vbat	TupsC				
新規ウィンド	ל(N)	Ctrl+N		100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
新規セッショ	ン(1)			100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.2				
開<(O)		Ctrl+O		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
(二)				100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.2				
(日本(0)				100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	27.67	25.6			
1木仔(5)				100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
名前を付けて	【保存(A)	Ctrl+S		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
タブを閉じる	(C)	Ctrl+W		99.3	0.0	0.0	60.00	100.0	27.27	25.6				
ページ設定の	n			99.3	0.0	0.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6		
	5,	Chillin D		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
cintri (P)		Ctn+P		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
印刷プレビュ	-(V)			100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
送信(E)		>		99.3	100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6			
インポートとフ	クフポート(M)			100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
12/01/23	- / /// 1/(//////			100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
このサイトをℷ	≦刀Ⅱ(D)	>		100.8	0.0	0.0	60.25	100.0	27.67	25.6				
プロパティ(R)				100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6				
終了(X)				100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.07	25.0				
019-04-04	08-13-4	1 99.3		100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1				
019-04-04	08:03:4	1 97.9		100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	100.0	27.67	25.6			
019-04-04	07:13:4	1 98.6		100.0	0.0	0.0	60.25	100.0	27.67	25.6	20.0			
019-04-04	07:03:4	1 99.3		100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1				
019-04-04	06:53:4	1 99.3		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1				
019-04-04	06:43:4	1 99.3		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
019-04-04	05:53:4	1 98.6		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.40	26.1				
019-04-04	05:43:4	1 99.3		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.54	26.1				
019-04-04	05:33:4	1 99.3		100.0	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1				
019-04-04	05:23:4	1 04:43	:41	100.0	101.5	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1			
019-04-04	04:33:4	1 100.8		100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1				•
2019-04-04	04-23-4	1 100.8		100.8	0.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1				

図 8.4-25

※②Logs → Events → log、③Logs → Data → log ともに、以下の方法で採取してください。 (保存方法その1)

🥔 Web ページの保存	×
	UPS Logsの検索 ク
整理 ▼ 新しいフォルダー	E== 👻 (
🏪 ローカル ディスク (C 🔨 名前	更新日時 種類
<b>PC</b> 検索条件に一部	致する項目はありません。
30 オブジェクト     ダウンロード     デスクトップ     ドキュメント     ビクチャ     ビグデオ     シミュージック     ニーカル デイスク (C	複数の UPS の情報 を採取される場合 は、ファイル名を変 更してください。
ファイル名(N): APC Event Log.mht	~
ファイルの種類( <u>T)</u> Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)	~
▲ フォルダーの非表示 エンコード(E): Unicode (UTF-8)	~ 保存(S) キャンセル

🗵 8.4-26

「Web アーカイブ、単一のファイル(\*.mht)」形式で保存する場合は、保存されるファイルが\*.mht ファイルのみになりますので、通常はこちらを推奨致します。ただし、複数のUPSに関する情報 を採取される場合は、ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名 を変更して保存してください。

(保存方法その2)

🥔 Web ページの保存	X
←      →          、         ・         ・	✓ ひ UPS Logsの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	≣≕ ▾ (?)
Line 10-カルディスク (C へ 名前 へ)	更新日時 種類
PC         検索           3D オブジェクト         1000000000000000000000000000000000000	条件に一致する項目はありません。
븆 ダウンロード	複数の UPS の情報
ニ デスクトップ	を採取される場合
ドキュメント	
■ ピクチャ	は、ノアイル名を変
🔚 ビデオ	更してください。
♪ ミュージック	
🟪 ローカル ディスク (С	
4211- 1 / (b) V X	
ファイル名( <u>N</u> ): APC Event Log.htm	~
ファイルの種類( <u>T</u> ): Web ページ、完全 (*.htm;*.html)	~
▲ フォルダーの非表示 エンコード( <u>E</u> ): Unicode (UTI	F-8) 〜 保存( <u>S</u> ) キャンセル

図 8.4-27

「Webページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式で保存する場合は、htmファイルとEvent Log.filesという 名前のフォルダが作成されますので、その両方を送付してください。こちらについても、複数のUPS について採取される場合は、ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイ ル名を変更して保存してください。

## ④access control情報

「Administration」タブを選択し、「Network」→「access control」を選択します。

下記 Access Control 情報が表示されますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付け て保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル(\*.mht)」形式または 「Web ページ、完全(\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。



図 8.4-28

# 8.5 Collect ログの採取

ESMPRO/AC に必要なログを採取するには「装置|静観双集ユーティリティ」が必要です。装置|静観双集ユーティリティは 使用しているサーバ装置のEXPRESSBUILDER またはStater Packに格納されています。または、下記サイトからもダウ ンロード可能です。

・装置情報収集ユーティリティ (Windows 版 Ver 3.3.0) <https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110130>

装置情報収集ユーティリティをインストールした後、下記手順にて Collect ログを採取してください。

- ESMPRO/ServerAgentService またはESMPRO/ServerAgentがインストールされている場合は、 Collect ログは、ESMPRO/ServerAgentService またはESMPRO/ServerAgent の「collect.exe」 を実行します。collect.exe は ESMPRO/ServerAgentService、ESMPRO/ServerAgent インス トールフォルダ(デフォルトは ¥ESM)の ¥tool フォルダ配下にあります。 collect.exe により採取される情報は、ESMPRO/ServerAgentService、ESMPRO/ServerAgent インス トールフォルダ下の「¥ tool¥ log」フォルダに圧縮ファイル(zip 形式)で格納されます。
- ESMPRO/ServerAgentService または ESMPRO/ServerAgent がインストールされていない場合 は、装置情報収集ユーティリティのインストールフォルダ配下の「¥stdclct¥collect.exe」を実行 してください。採取される情報は「¥stdclct¥log」フォルダに圧縮ファイル(zip 形式)で格納され ます。

上記内容の詳細について、装置情報収集ユーティリティに添付している readme.txt をご参照ください。

# 第9章 各種資料

ESMPRO/AC Lite では、製品のご紹介サイトで電源管理の環境構築を支援するための各種資料 を公開しています。Hyper-V 環境で電源管理を行う場合等は、以下に公開されているドキュメン トを参考に環境構築を行ってください。

https://jpn.nec.com/esmpro\_ac/

- → ダウンロード
  - → 各種資料

**[Hyper-V 環境における電源管理ソフトウェアの導入]** Hyper-V 環境の電源管理を行う場合、本資料を参考にしてください。